

2026年5月

マイナビ進学会員

「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」報告書

マイナビ進学総合研究所は、2026年3月卒業の高校生に対し「高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査」を実施いたしましたので、下記の通りご報告いたします。

【調査概要】

- 調査名：高校生の進路意識と進路選択に関するアンケート調査（2026年3月実施）
- 調査方法：メールにて調査告知を行い、WEBフォームにて回答
- 調査回収期間：2026年3月25日～2026年3月31日
- 調査対象者：2026年3月に卒業予定の高校3年生（マイナビ進学会員登録者）
- 有効回答者数：1,119名（WEB調査）
（進路決定先…大学：854名／短期大学：40名／専門学校：135名／
その他：90名）

調査結果トピックス

■大学進学者は「2年生4～9月」に約25%が進学先を認知

大学進学者の進学先の認知時期と比較すると、進学先は「2年生4～9月」が約25%と4人に1人がこの時期に認知している。累計で他の候補学校と比較しても、2年生での認知は進学先が最も高い。

■大学進学者は「3年生7～9月」のイベント参加が進学先決定の鍵

大学進学者のイベントへ参加した時期は、進学先と他の候補学校で最も差が開いているのは、「3年生7～9月」。また、同時期に他の候補校のイベントに約20%が参加していることから、複数校比較検討している様子も見受けられる。

■大学進学者は「早期認知×継続的な関与」で進学先の志望意向を醸成

進学先となった学校は、合格したものの進学しなかった学校と比較して、認知のピークが早く、イベント参加率も高い傾向が見られる。特に、オープンキャンパスが多く開催される7～9月においては、1・2年生段階で参加率に大きな差は見られないものの、3年生では進学先の参加率が他の候補校を10pt以上上回る結果が見られる。認知時期、資料請求時期、出願意思の形成時期のピークについても、進学先の方がいずれも早いことが確認された。早期から継続的に関与が高まった学校が、最終的な進学先として選ばれる可能性が高いと考えられる。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ キャリアデザイン事業本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

INDEX

1 学校選びについて……P3

- ・志望校選びの際「重視するポイント」
- ・「学べる内容」のうち、あなたが重視した内容
- ・学校選びの際の候補校数と受験した学校数（平均）
- ・受験回数（平均）
- ・受験校数を2校以下に抑えた理由

2 進学先の学校について……P8

- ・進学先を選んだ理由
- ・進学先に合格した入試方式
- ・進学先の学部・学科系統／学科・コース系統
- ・進学する学校を知った時期
- ・進学する学校へ資料請求をした時期
- ・進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期
- ・進学する学校へ出願を決めた時期
- ・高校卒業後、進学する際の住まいについて

3 進学先以外の候補学校について……P22

- ・進学先以外の候補学校を知った時期
- ・進学先以外の候補学校へ資料請求をした時期
- ・進学先以外の候補学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期
- ・進学先以外の候補学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した割合
- ・進学先以外の候補学校の出願を決めた時期
- ・色々調べたが志望校候補に入らなかった学校が、志望校候補に入らなかった一番の理由
- ・志望校候補に入っていたが出願しなかった学校に、出願しなかった一番の理由
- ・合格したが進学しなかった学校を、進学先として選ばなかった一番の理由

4 進路選択に関する不安・満足度について……P32

- ・受験校を選んだ時の不安や悩み
- ・進路選択の満足度（100点満点評価）

※短期大学進学者については、サンプル数が少ないため参考値としてご参照ください。

※本報告書では、サンプル数が30名以下の分類など、グラフ作成を割愛している箇所がございます。

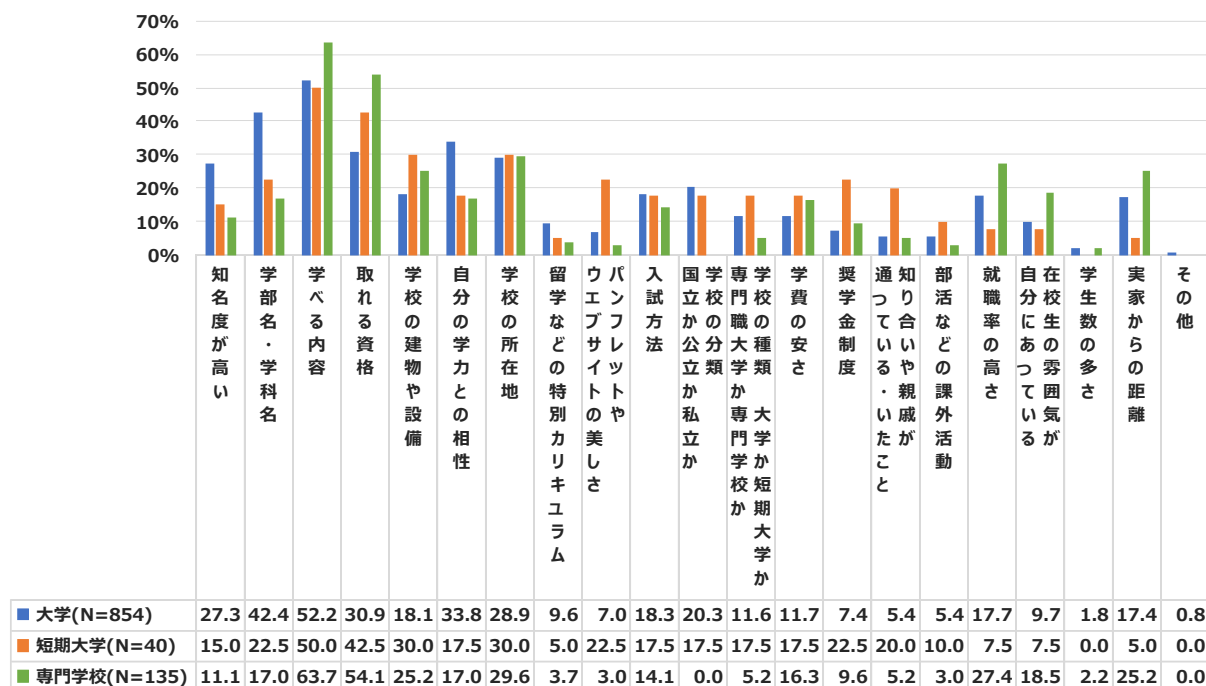
1 学校選びについて

■ 志望校選びの際「重視するポイント」

志望校選びの際「重視するポイント」について聞くと、「学べる内容」(大学進学者 52.2%、短期大学進学者 50.0%、専門学校進学者 63.7%)がトップの項目となった。

2位は、大学進学者は「学部名・学科名」(42.4%)で前年から9.0pt 上昇、短期大学進学者・専門学校進学者は「取れる資格」(短期大学進学者 42.5%、専門学校進学者 54.1%)。短期大学進学者の「取れる資格」は前年トップから2位に。

▼ 志望校選びの際「重視するポイント」



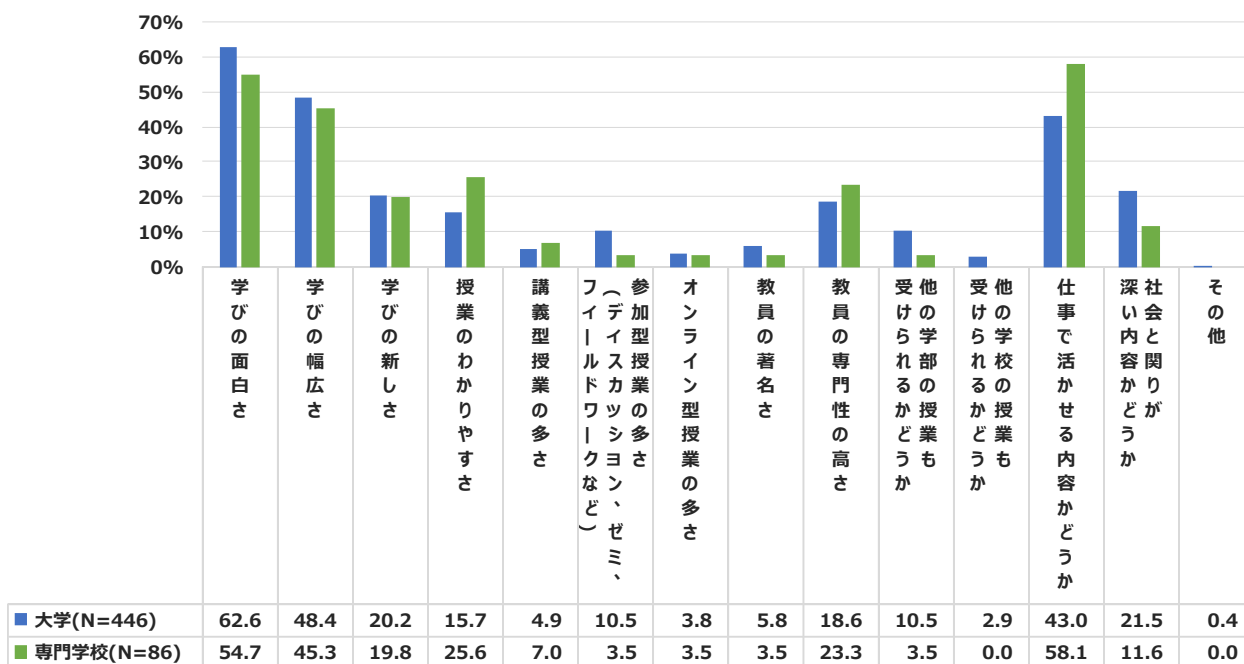
■「学べる内容」のうち、あなたが重視した内容

大学進学者・専門学校進学者で志望校選びの際「重視するポイント」で最も回答割合が高かった「学べる内容」について最も重視する内容を確認したところ、大学進学者では前年同様に「学びの面白さ」(62.6%)が1位、「学びの幅広さ」(48.4%)が2位となった。

専門学校進学者では「仕事で活かせる内容かどうか」(58.1%)が1位、「学びの面白さ」(54.7%)が2位で、前年同様の順位に。

※志望校選びの際「重要するポイント」で「学べる内容」を選択した人のみに聴取。

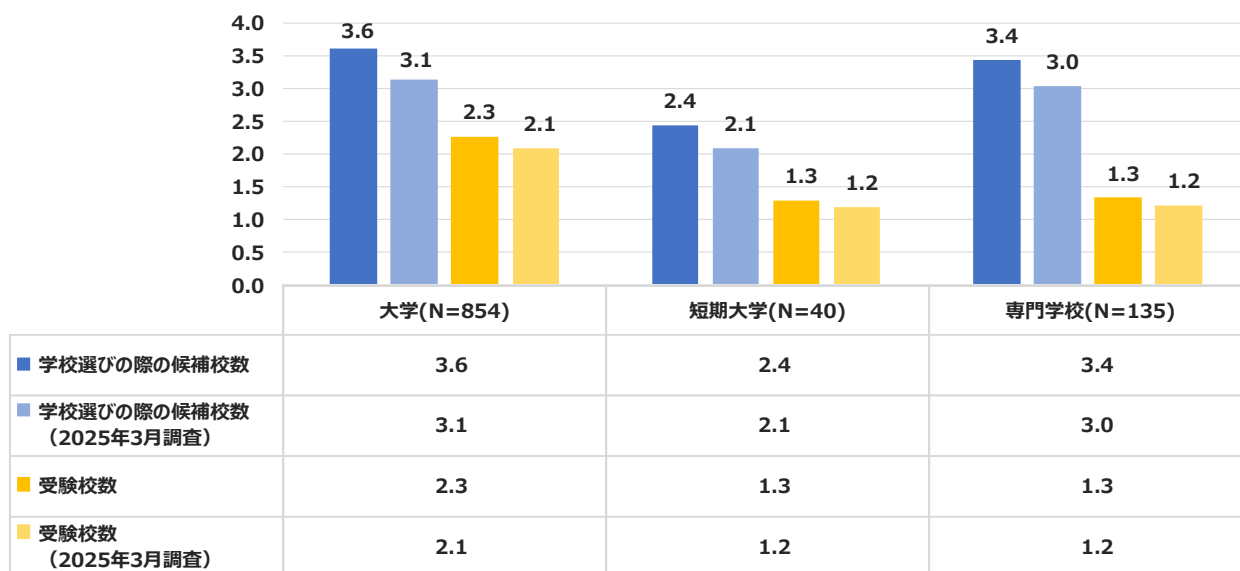
▼「学べる内容」のうち、あなたが重視した内容



■ 学校選びの際の候補校数と受験した学校数（平均）

学校選びの際の候補校数と受験した学校数の平均を算出すると、大学進学者では約 3.6 校の候補から約 2.3 校を受験し、短期大学進学者では約 2.4 校の候補から約 1.3 校を受験、専門学校進学者では約 3.4 校の候補から約 1.3 校を受験という結果となった。

▼ 学校選びの際の候補校数と受験した学校数（平均）



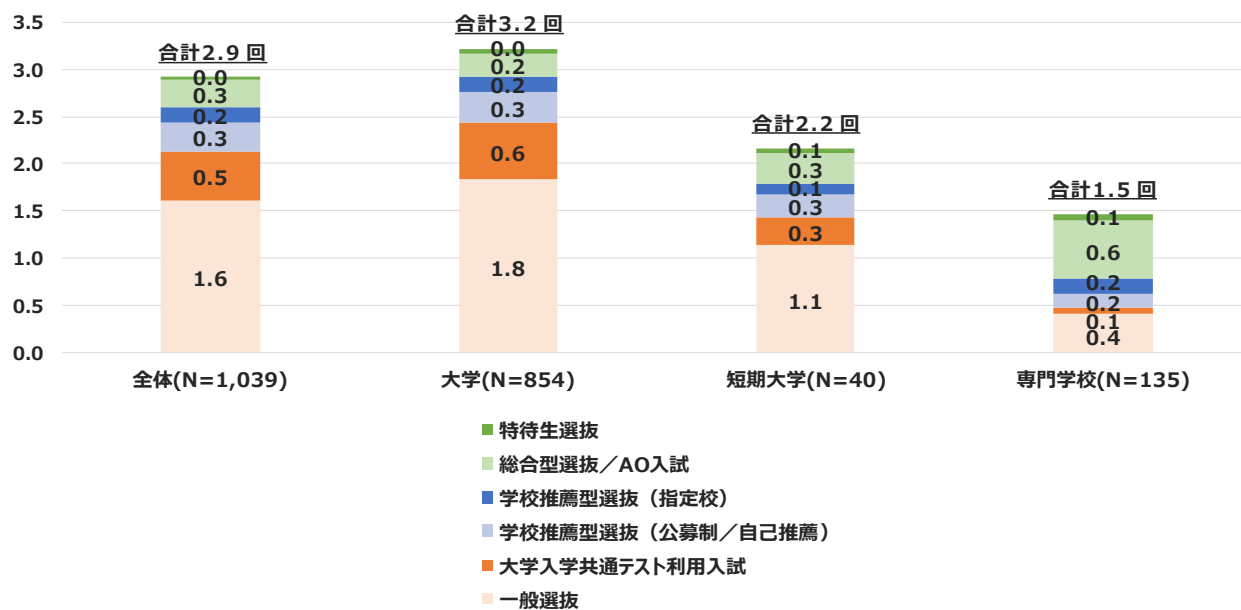
以下、余白

■受験回数（平均）

進学先別の平均受験回数は、大学進学者が約 3.2 回で最も多く、短期大学進学者が約 2.2 回、専門学校進学者が約 1.5 回となっている。

受験をした入試方式別では、大学進学者・短期大学進学者では「一般選抜」が、専門学校進学者では「総合型選抜／AO入試」が最も受験回数が多い。

▼受験回数（平均）



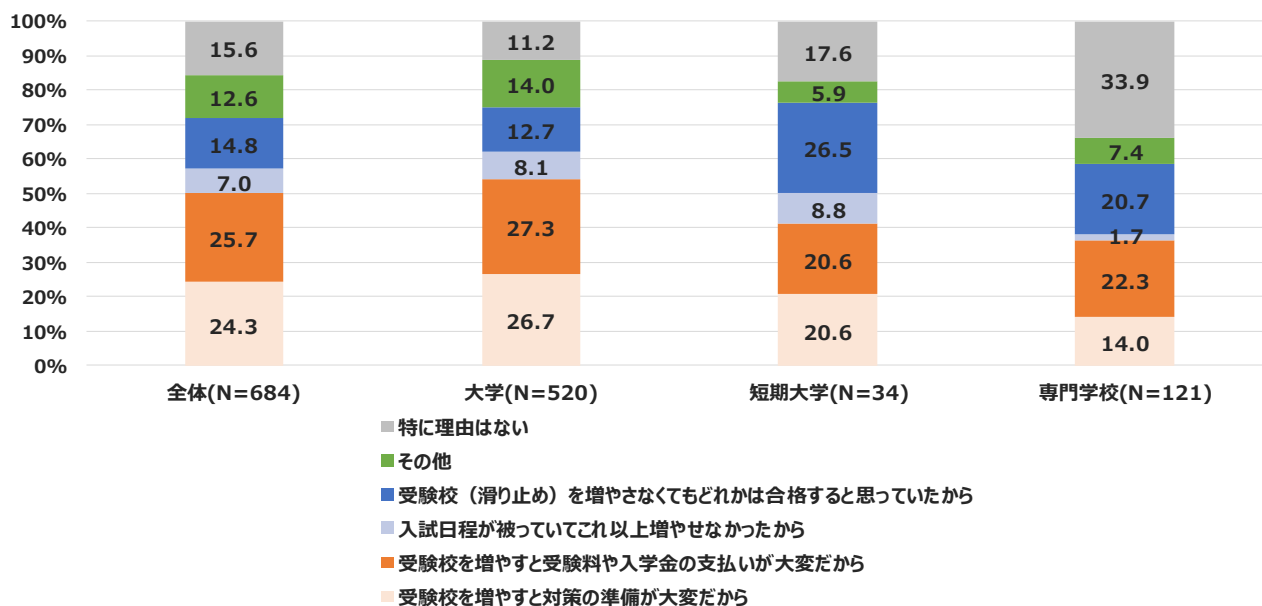
以下、余白

■ 受験校数を2校以下に抑えた理由

受験校数が2校以下の人に2校以下に抑えた理由を聴取した。大学進学者では「受験校を増やすと受験料や入学金の支払いが大変だから」(27.3%)が、短期大学進学者では「受験校（滑り止め）を増やさなくてもどれかは合格すると思っていたから」(26.5%)が1位に。専門学校進学者では「特に理由はない」(33.9%)に次いで、「受験校を増やすと受験料や入学金の支払いが大変だから」(22.3%)があげられた。

※受験校数が2校以下の人のみに回答してもらった。

▼ 受験校数を2校以下に抑えた理由



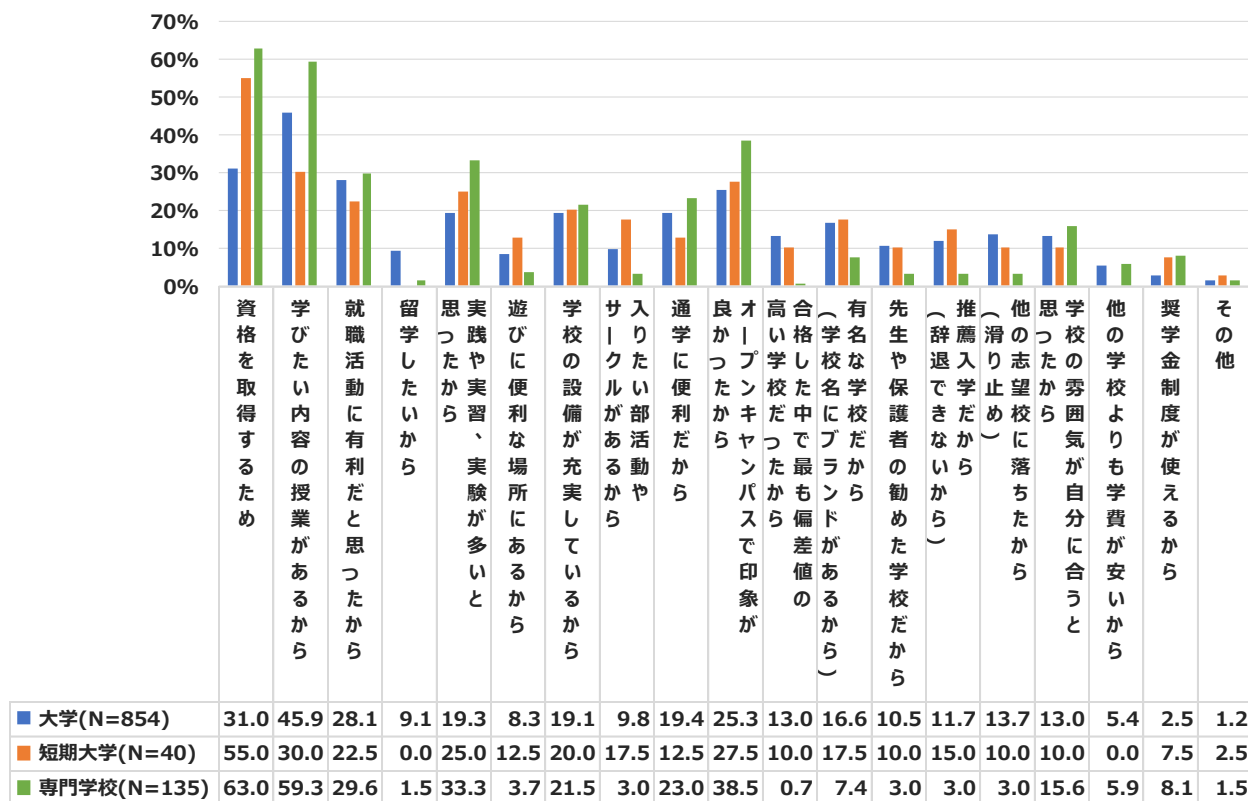
以下、余白

2 進学先の学校について

■ 進学先を選んだ理由

進学先を選んだ理由は、進学先に関わらず「学びたい内容の授業があるから」「資格を取得するため」が上位に並んだ。大学進学者では「就職活動に有利だと思ったから」「オープンキャンパスで印象が良かったから」、専門学校進学者では「オープンキャンパスで印象が良かったから」「実践や実習、実験が多いと思ったから」が続いた。

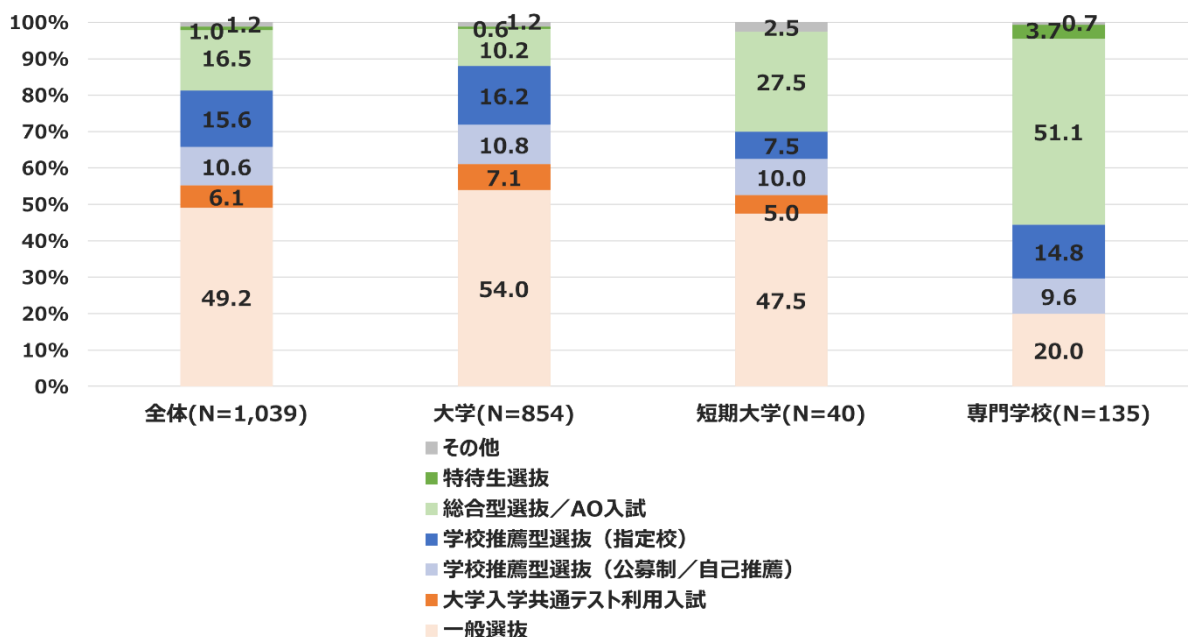
▼ 進学先を選んだ理由



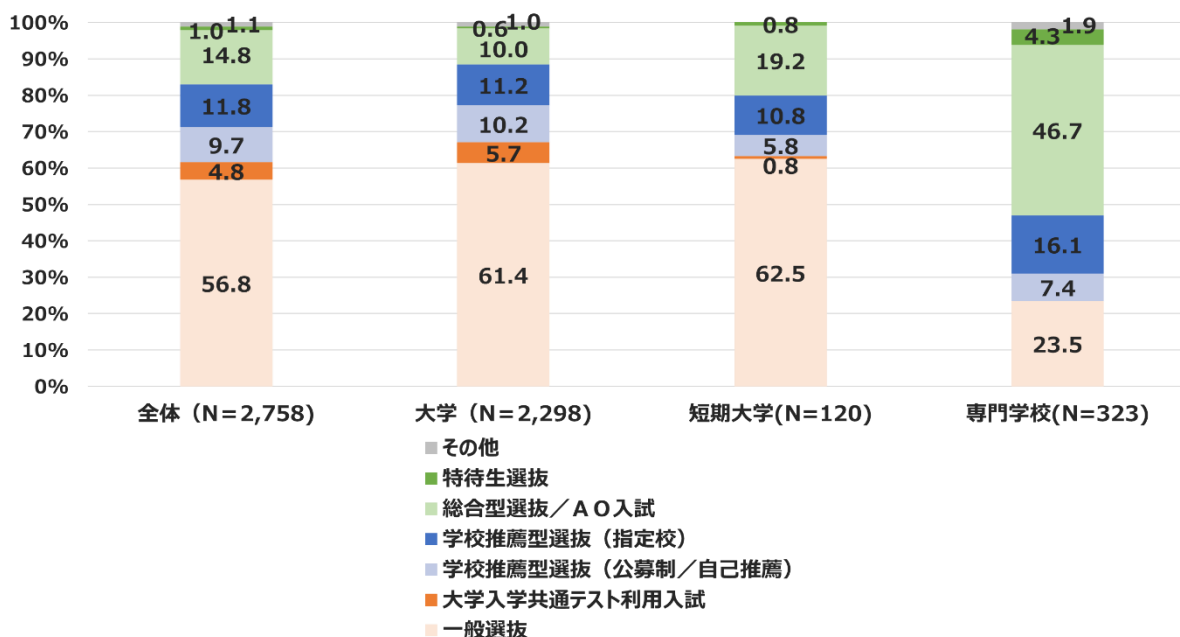
■進学先に合格した入試方式

進学先に合格した入試方式は、受験回数と同様に、大学進学者・短期大学進学者では「一般選抜」が、専門学校進学者では「総合型選抜/AO入試」が最も多い。昨年と比較すると、大学進学者では、「一般選抜」が-7.4pt、「学校推薦型選抜(公募制/自己推薦)」「学校推薦型選抜(指定校)」「総合型選抜/AO入試」を合わせたいわゆる年内入試は+5.8ptとやや変化があった。

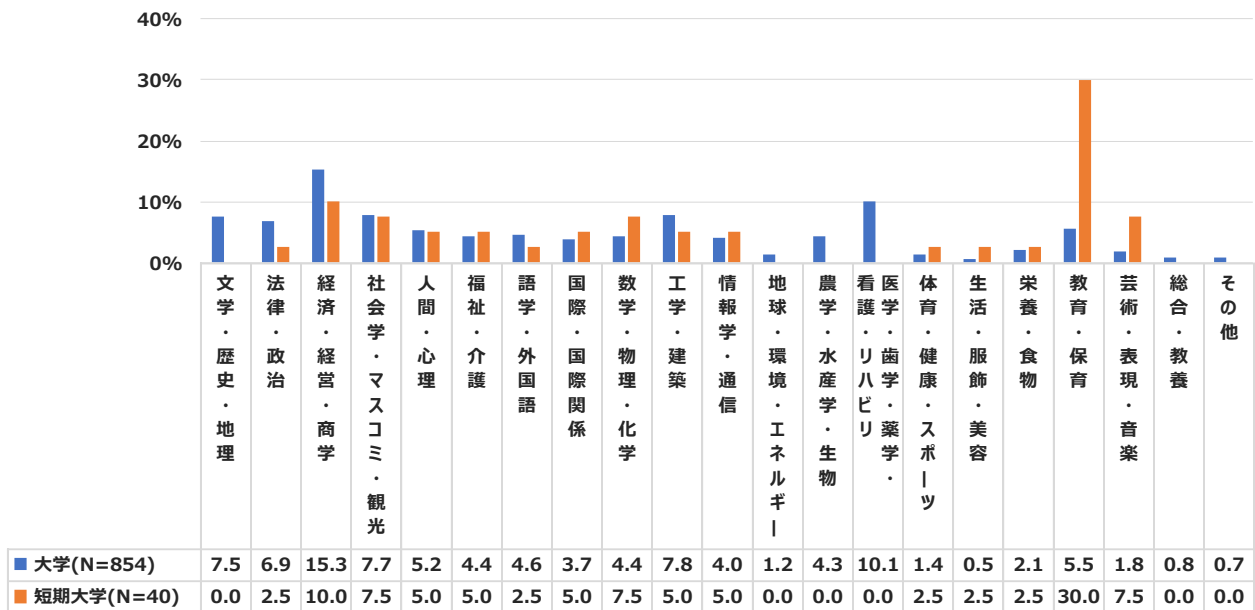
▼進学先に合格した入試方式



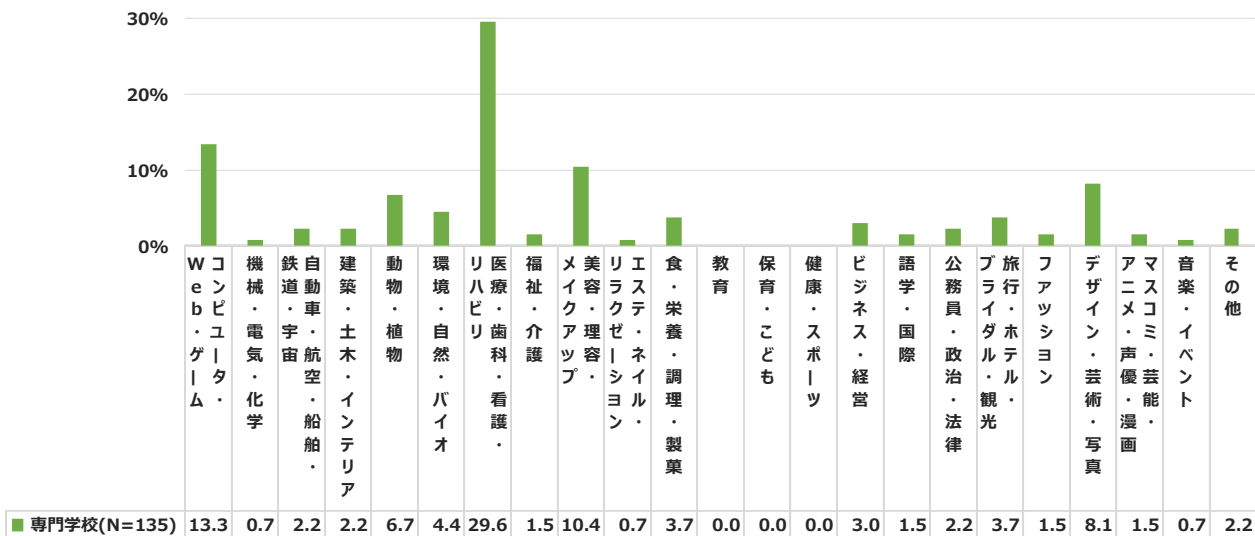
▼進学先に合格した入試方式(2025年3月調査)



▼進学先の学部・学科系統



▼進学先の学科・コース系統



進学する学校（以下、進学先）の認知時期、資料請求時期、オープンキャンパス・体験入学への参加時期、出願時期について調査した。

■進学する学校を知った時期

進学先の認知時期を見ると、大学進学者では「中学生以前」（16.0%）、「高校2年生4～9月」（25.4%）、「高校3年生4～6月」（11.4%）に比較的多く、複数の時期に認知のきっかけがあることが確認できる。

短期大学進学者では「高校2年生4～6月」（27.5%）、専門学校進学者では「高校3年生4～6月」（29.6%）が最も高い。

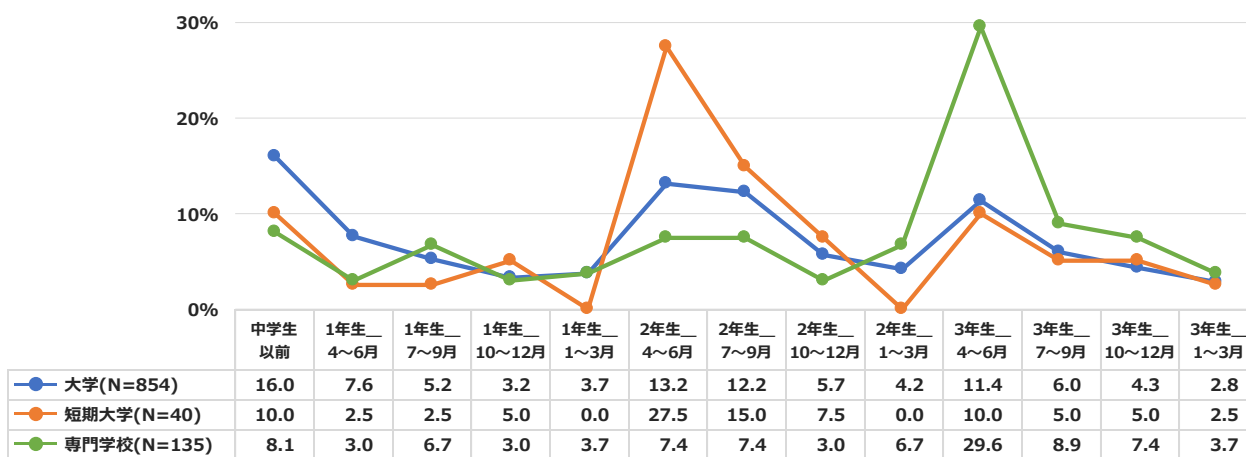
また、2024年卒から2026年卒の比較では、大学進学者は認知が集中する最初の時期に、年次ごとの違いがみられるが、「高校3年生4～6月」はいずれの年次でも共通して高い。専門学校進学者については、「高校3年生4～6月」がすべての年次でも最も高く、この時期に進学先の認知が進む傾向が一貫して確認できる。

累計を確認すると、大学進学者の認知は1年生の間では約20%、2年生の間でも約35%、3年生の間では約25%となり、2年生の間に進学先を認知した人が最も多い結果となった。また、3年生進級前までには約7割に達した。

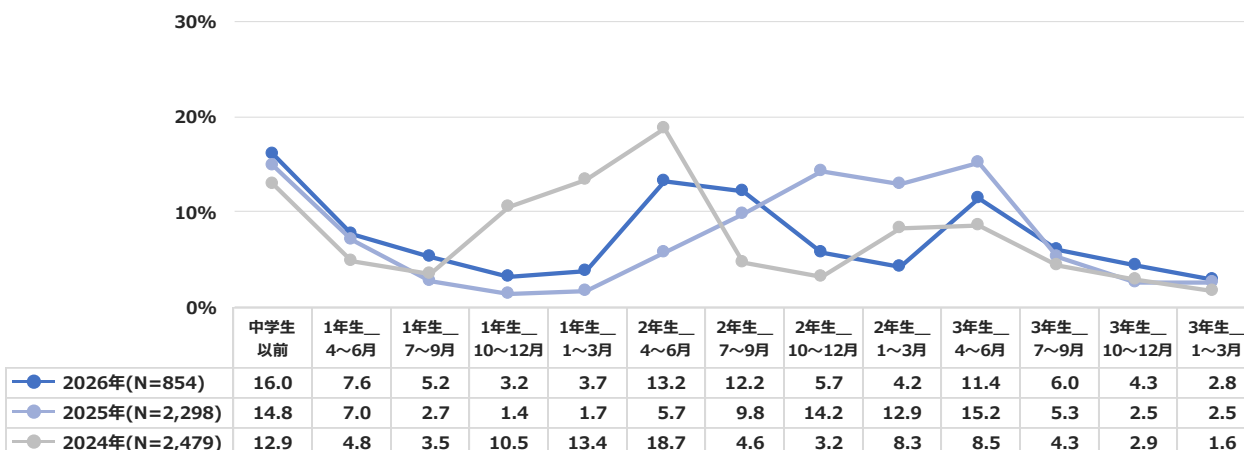
専門学校進学者専門学校進学者の認知は1年生の間では約16%、2年生の間でも約25%、3年生の間では約20%となり、大学進学者と同様に2年生の間に進学先の認知が進んでいることが分かった。

※グラフ非掲載の回答「覚えていない」を含めると100%になる。

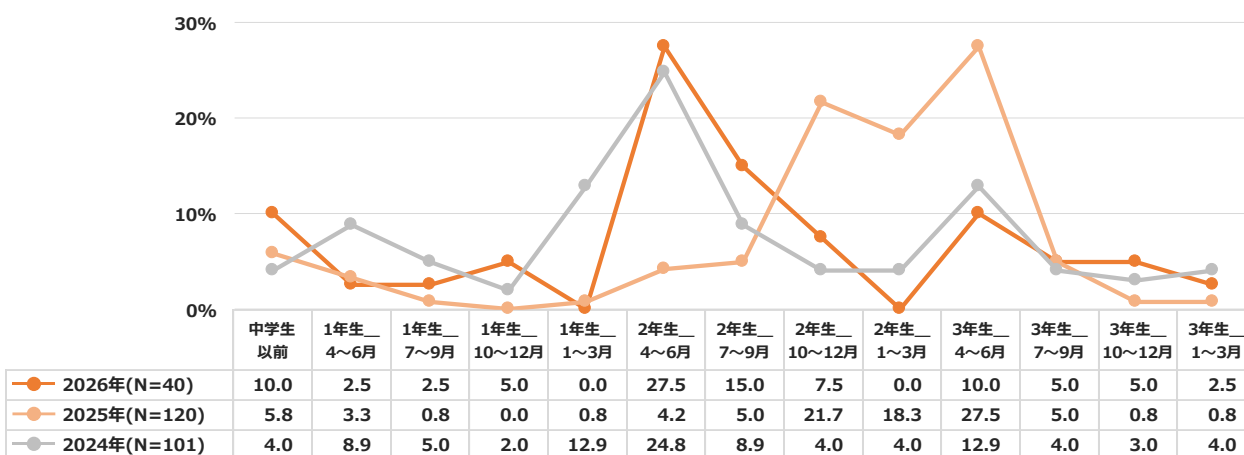
▼進学する学校を知った時期（進学先別）



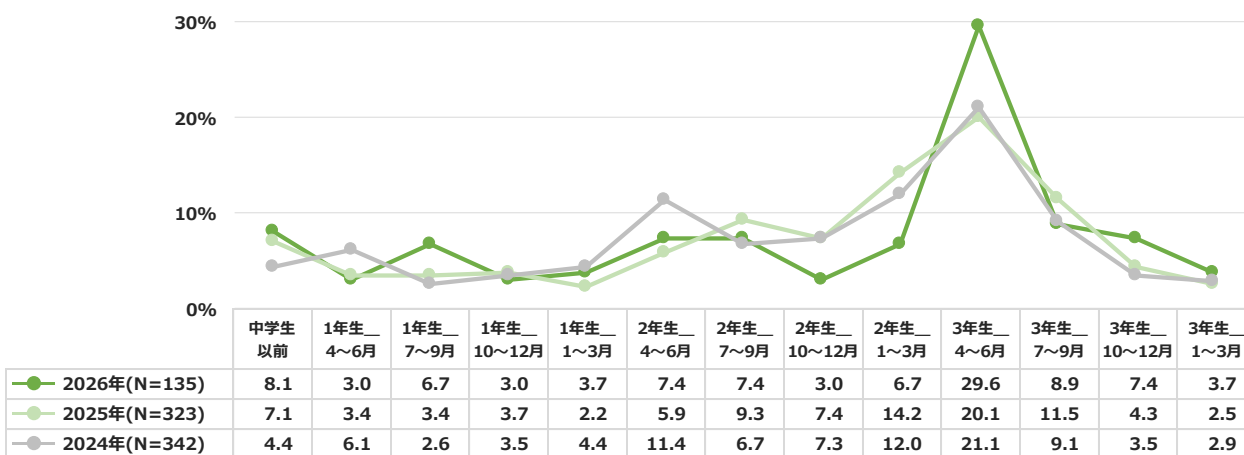
▼進学する学校を知った時期（大学進学者）（3年間比較）



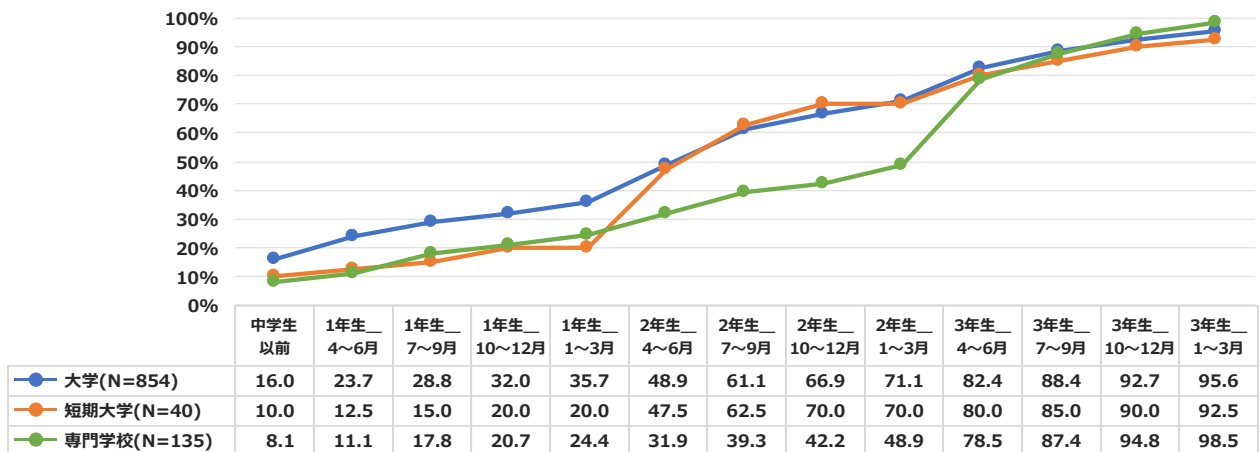
▼進学する学校を知った時期（短期大学進学者）（3年間比較）



▼進学する学校を知った時期（専門学校進学者）（3年間比較）



▼進学する学校を知った時期（累計）（進学先別）



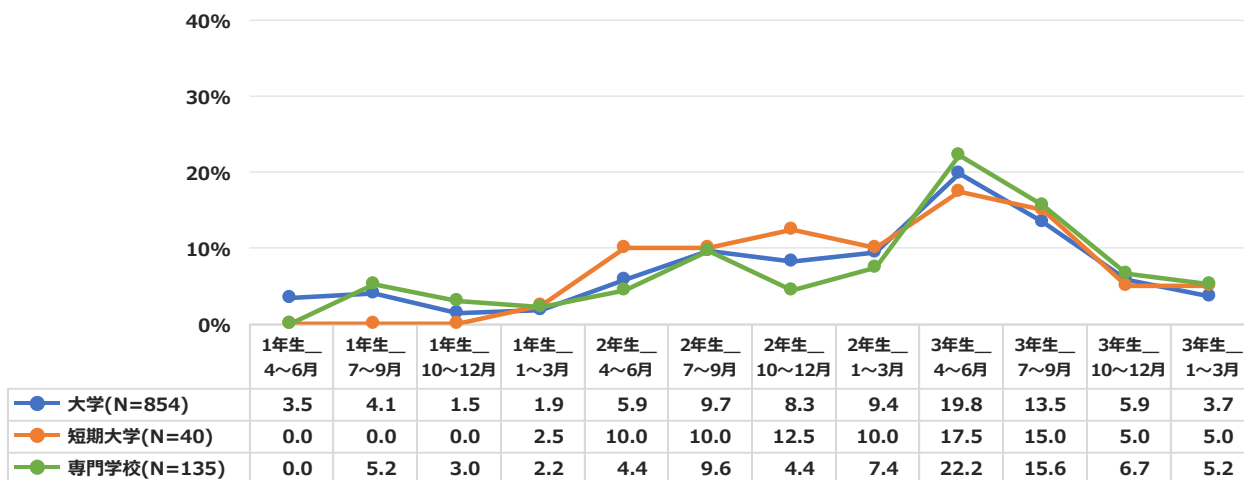
以下、余白

■ 進学する学校へ資料請求をした時期

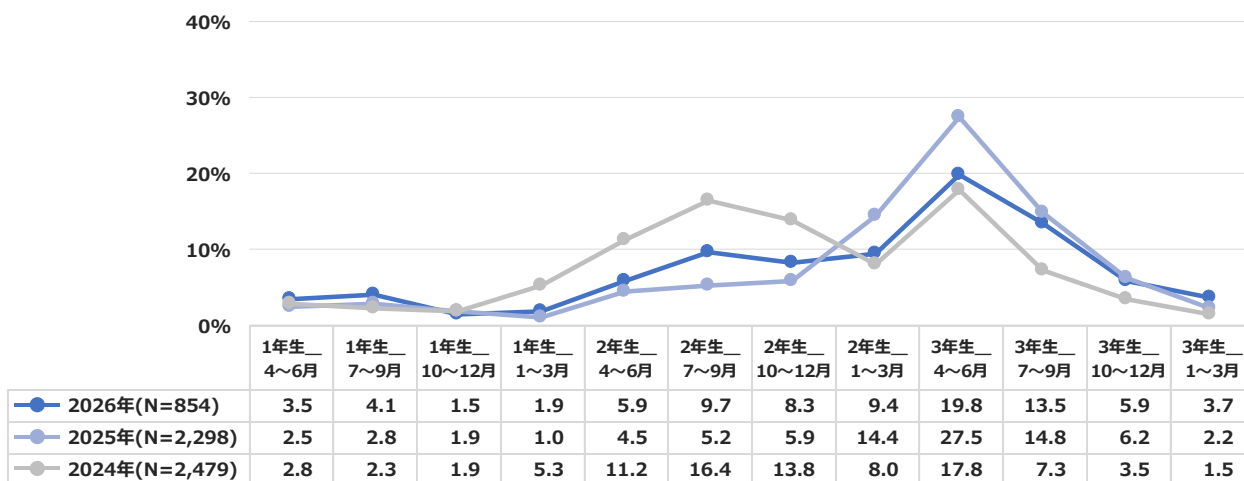
進学先への資料請求は、「3年生 4～6月」が大学進学者では19.8%、短期大学進学者では17.5%、専門学校進学者では22.2%で、いずれも最も多い。

※グラフ非掲載の回答「資料請求したが時期は覚えていない」「資料請求していない」「資料請求したかどうか覚えていない」を含めると100%になる。

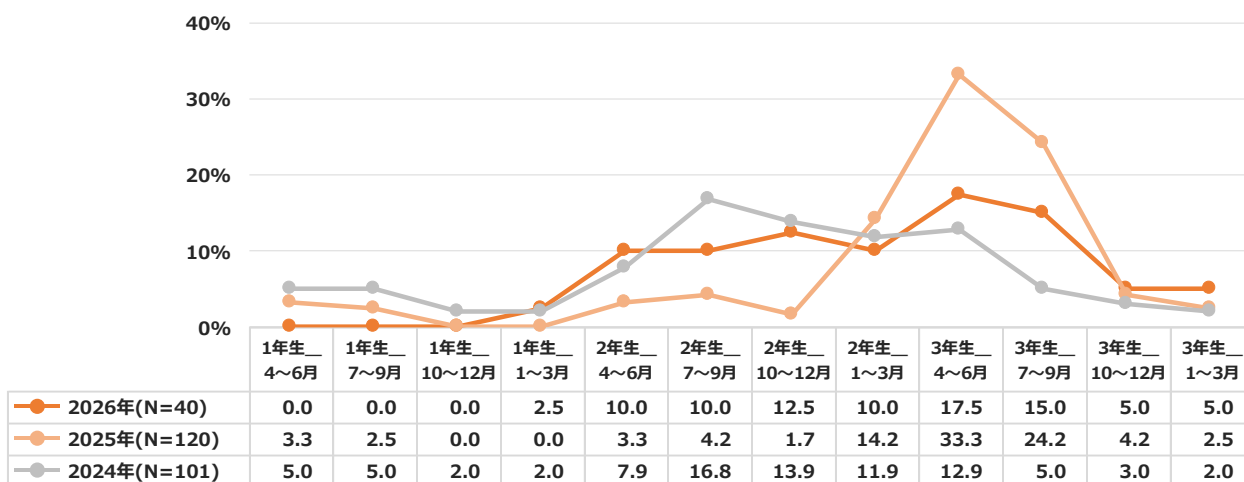
▼ 進学する学校へ資料請求をした時期（進学先別）



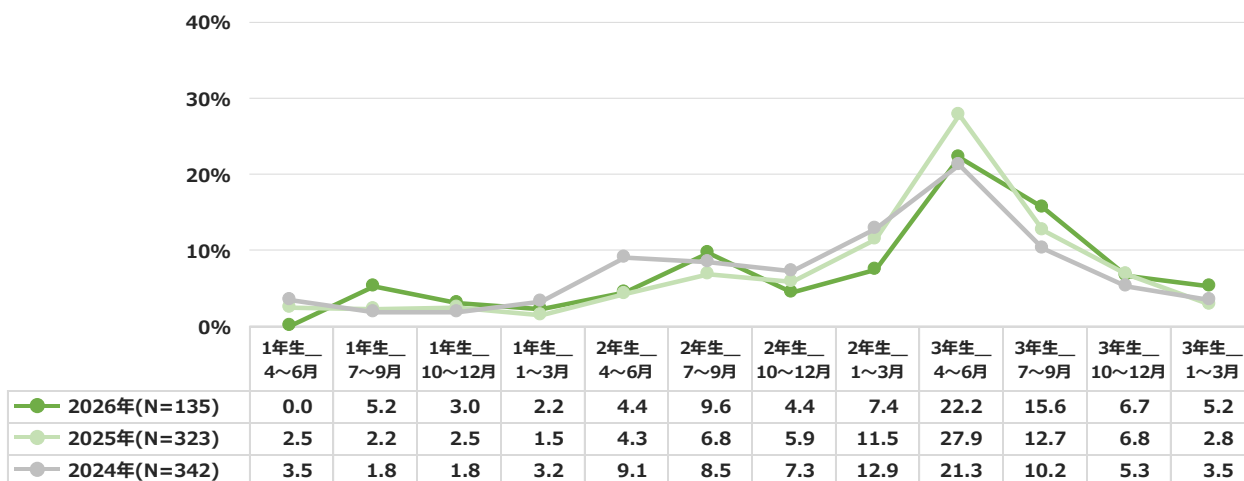
▼ 進学する学校へ資料請求をした時期（大学進学者）（3年間比較）



▼進学する学校へ資料請求をした時期（短期大学進学者）（3年間比較）



▼進学する学校へ資料請求をした時期（専門学校進学者）（3年間比較）

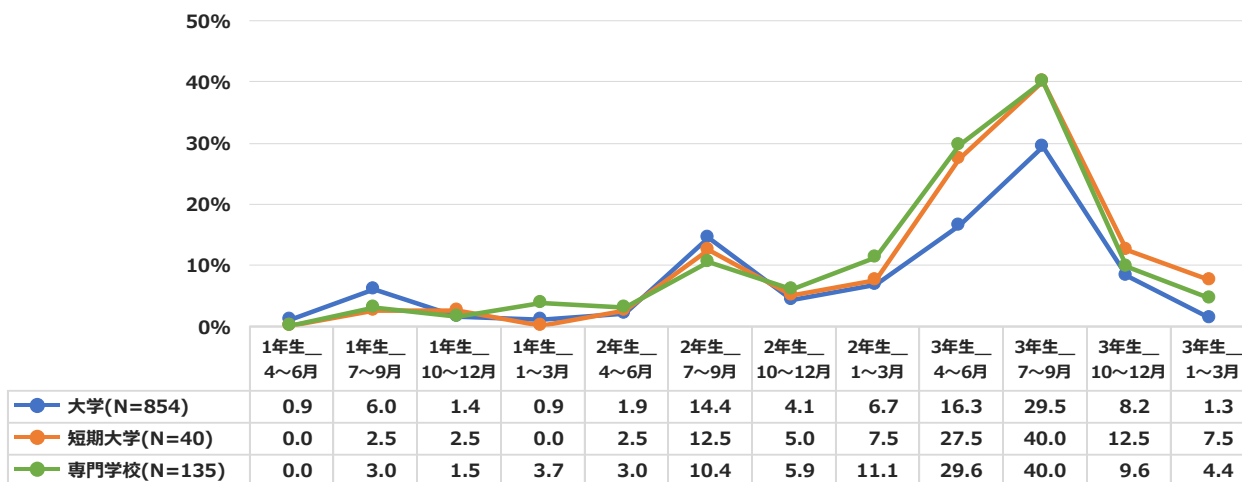


■進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期

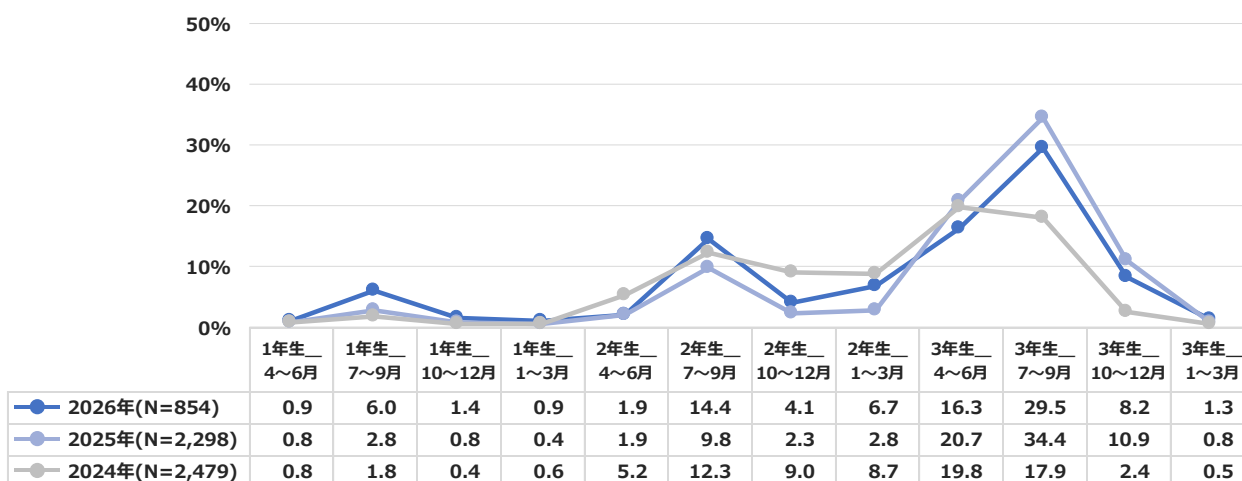
進学先のオープンキャンパス・体験入学に参加した時期については、「3年生 7～9月」での参加が、大学進学者は29.5%、短期大学進学者・専門学校進学者では40.0%で、いずれも最も多い。また、「2年生の7～9月」でのイベント参加は進学先校種に関わらず、10～15%程度であった。

※グラフ非掲載の回答「参加したが時期は覚えていない」「参加していない」「参加したかどうか覚えていない」を含めると100%になる。

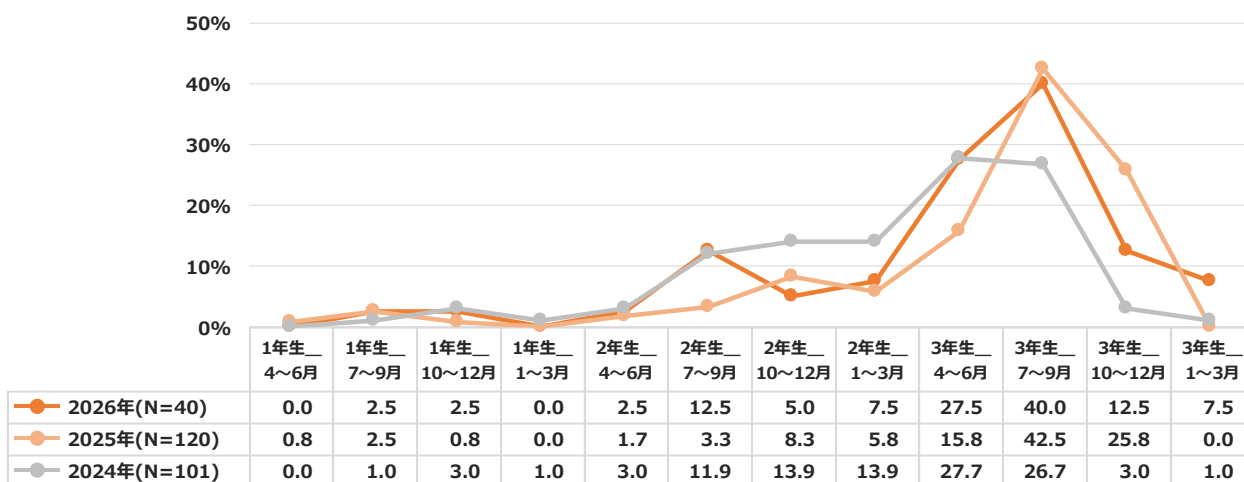
▼進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（進学先別）



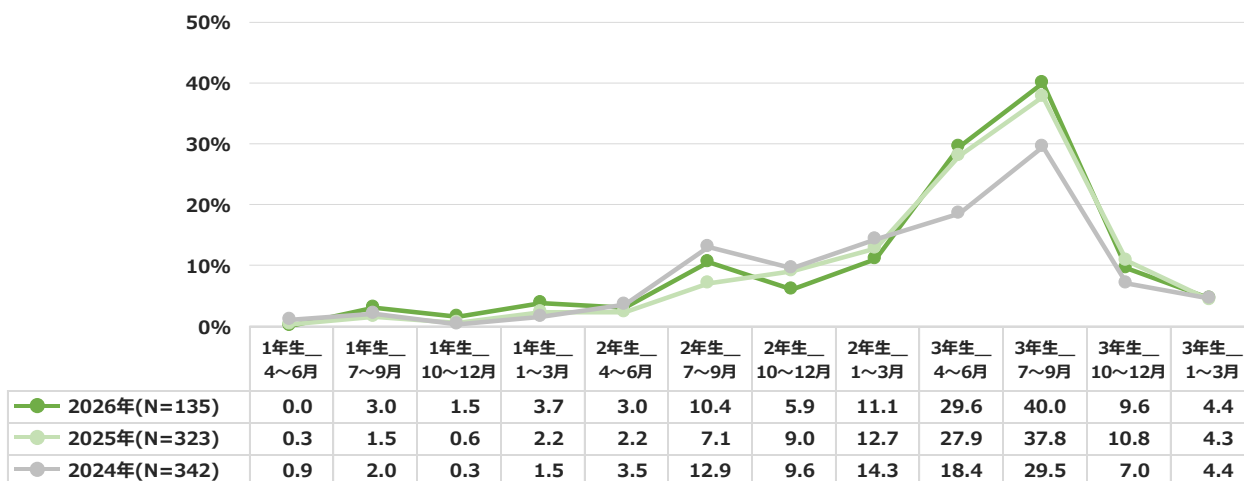
▼進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（大学進学者）（3年間比較）



▼進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（短期大学進学者）（3年間比較）



▼進学する学校のオープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（専門学校進学者）（3年間比較）



■ 進学する学校へ出願を決めた時期

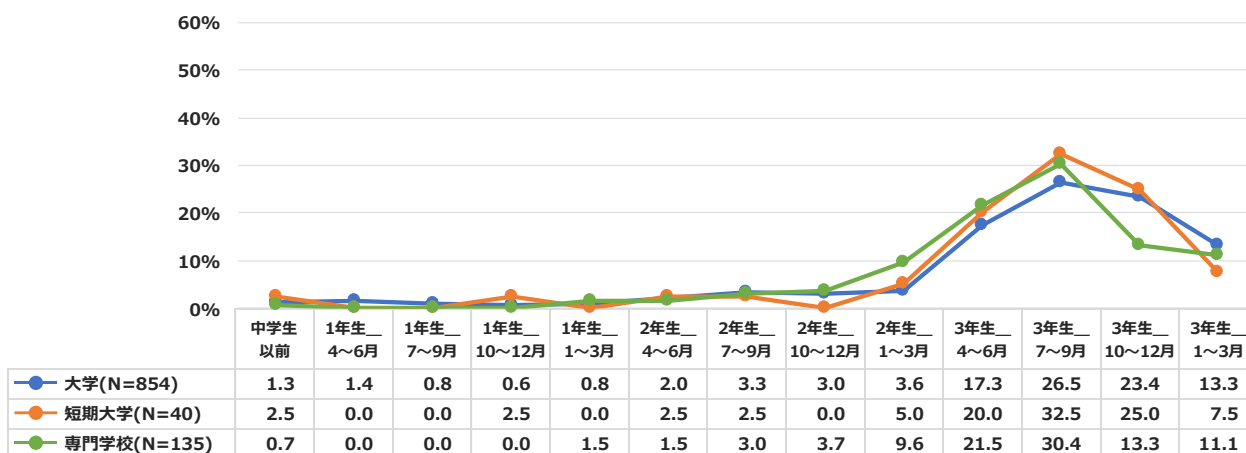
進学する学校へ出願は、「3年生 7～9月」が大学進学者では26.5%、短期大学進学者では32.5%、専門学校進学者では30.4%で、いずれも最も多い。

累計値で見ても、大学進学者・短期大学進学者・専門学校進学者のいずれも、「3年生 7～9月」に進捗し6割を超え、出願意思が固まる時期であることがわかる。

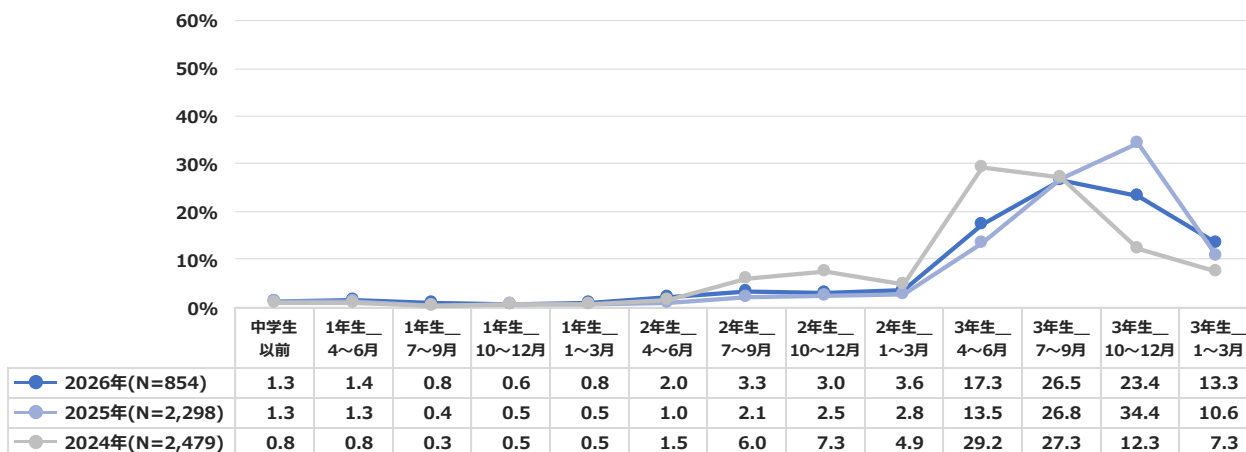
また、2024年卒、2025年卒と比較しても、出願決定をする時期は「3年生 7～9月」が最多となり、傾向に変化は見られない。

※グラフ非掲載の回答「覚えていない」を含めると100%になる。

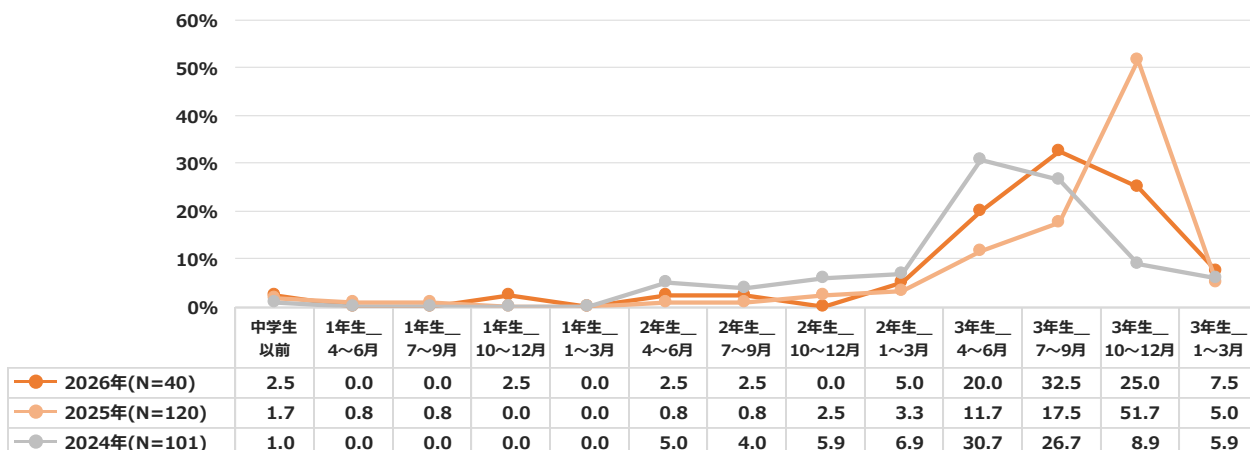
▼ 進学する学校へ出願を決めた時期（進学先別）



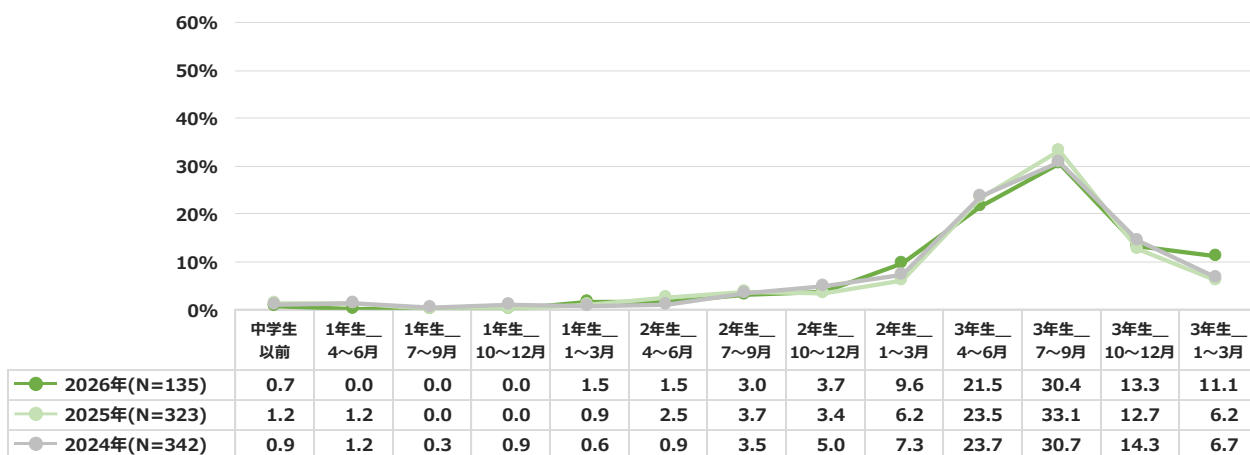
▼ 進学する学校へ出願を決めた時期（大学進学者）（3年間比較）



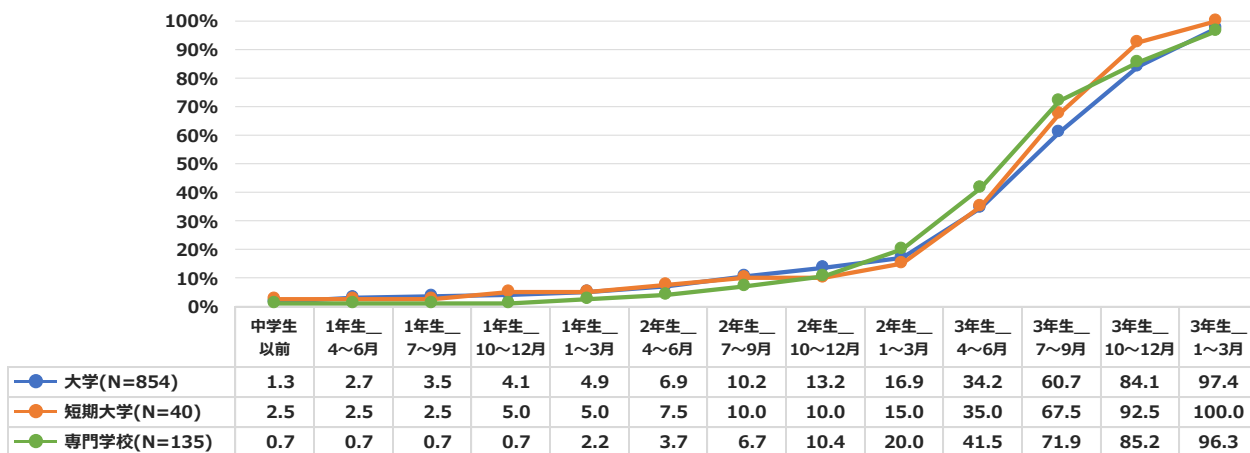
▼進学する学校へ出願を決めた時期（短期大学進学者）（3年間比較）



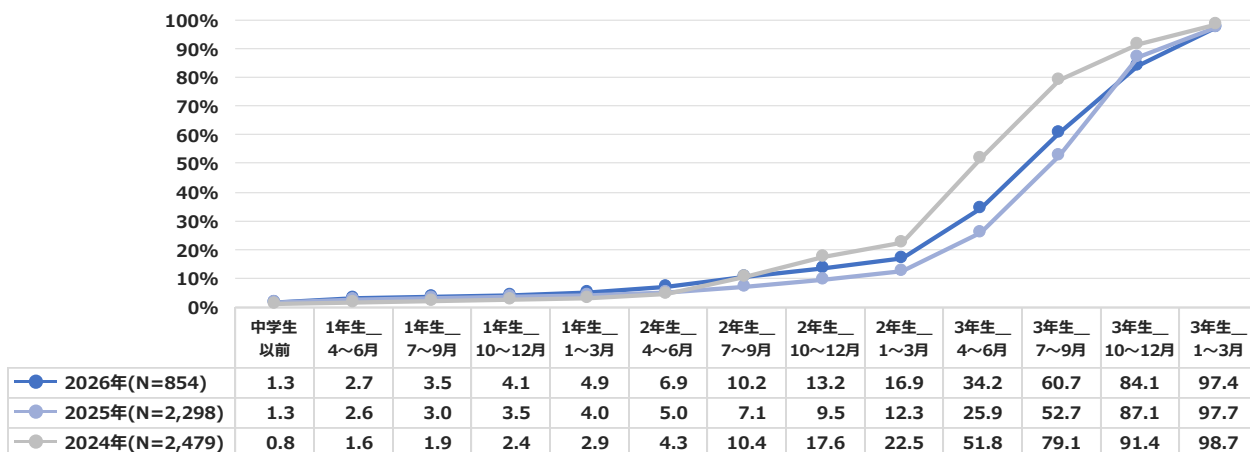
▼進学する学校へ出願を決めた時期（専門学校進学者）（3年間比較）



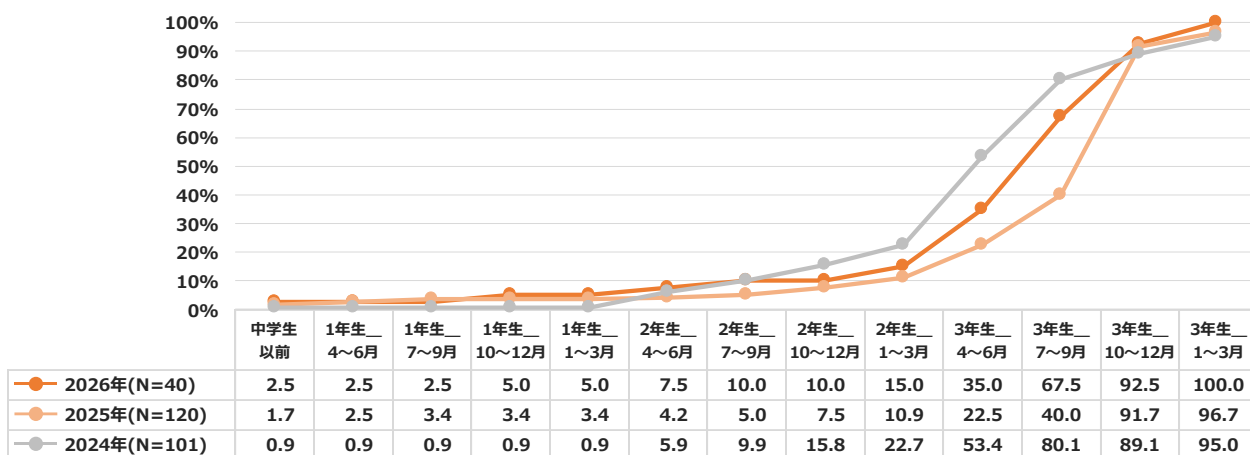
▼進学する学校へ出願を決めた時期（累計）（進学先別）



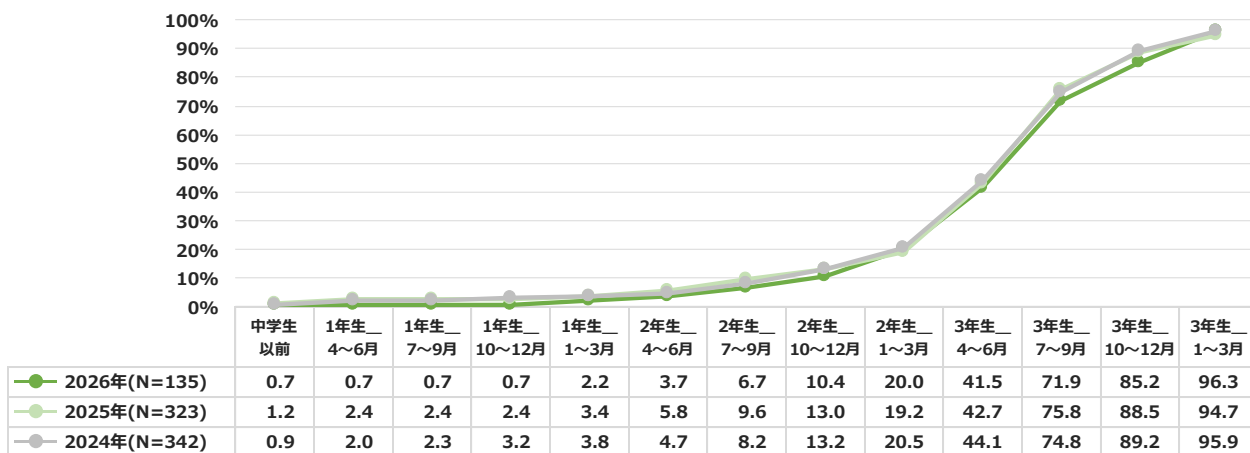
▼進学する学校へ出願を決めた時期（累計）（大学進学者）（3年間比較）



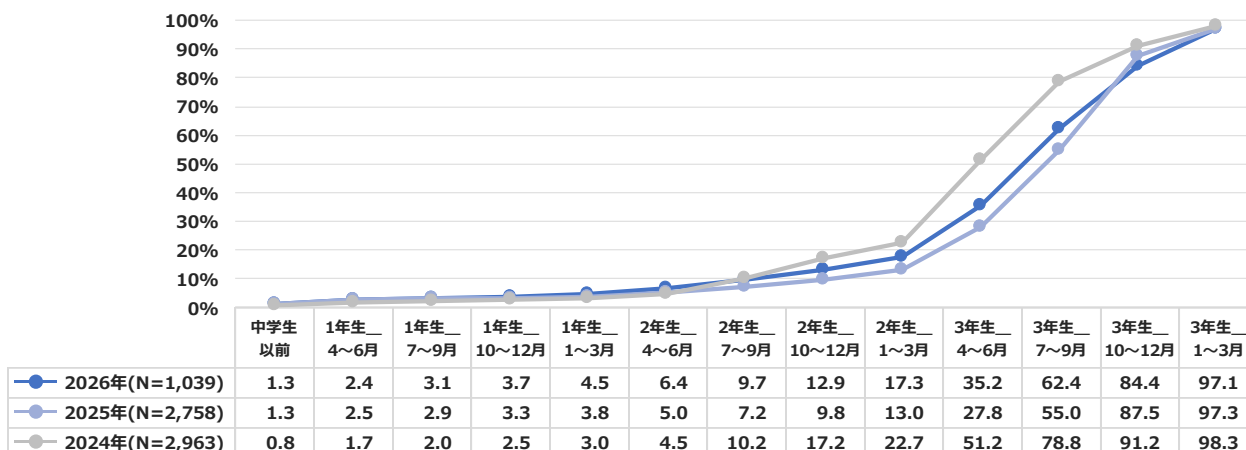
▼進学する学校へ出願を決めた時期（累計）（短期大学進学者）（3年間比較）



▼進学する学校へ出願を決めた時期（累計）（専門学校進学者）（3年間比較）



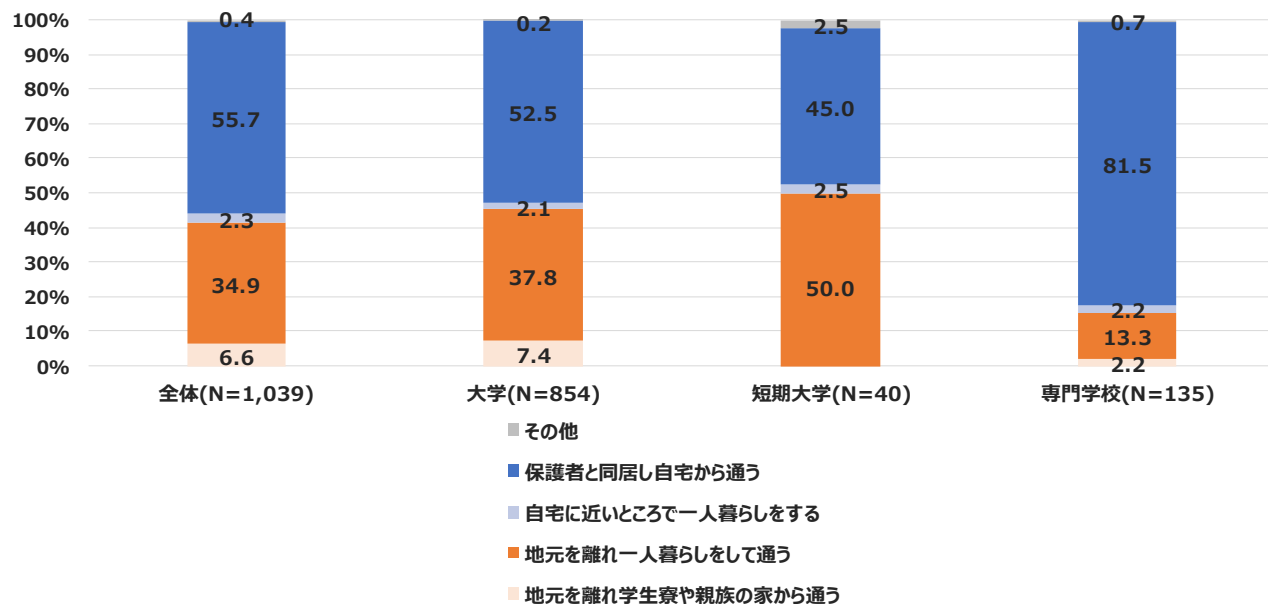
▼進学する学校へ出願を決めた時期（累計）（全体）（3年間比較）



■ 高校卒業後、進学する際の住まいについて

高校卒業後の住まいについては、大学進学者・専門学校進学者では「保護者と同居し自宅から通う」(大学進学者 52.5%、専門学校進学者 81.5%)が、短期大学進学者では「地元を離れ一人暮らしをして通う」(50.0%)が最も多い。

▼高校卒業後、進学する際の住まいについて



3 進学先以外の候補学校について

進学先以外の候補学校についても、認知時期、資料請求時期、オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期、出願時期を調査した。

※「進学先」に加えて、「合格したが進学しなかった学校」、「志望校候補に入っていたが出願しなかった学校」、「色々調べたが志望校候補に入らなかった学校」について聴取。

■ 進学先以外の候補学校を知った時期

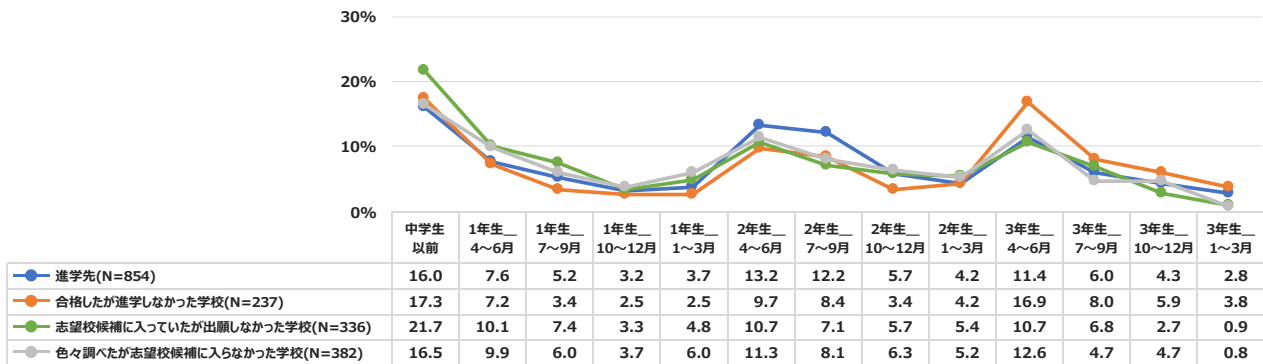
大学進学者の傾向を確認すると、他の候補学校と進学先の認知時期の傾向は似ており、「中学生以前」「2年生 4～6月」「3年生 4～6月」に認知が進んでいることがわかる。特に、進学先と合格したが進学しなかった学校を比較すると、「1年生 4～6月」から「2年生 10～12月」にかけては進学先の方が認知が進んでいる。一方、「3年生 4～6月」から「3年生 1～3月」にかけては、合格したが進学しなかった学校の方が進学先より認知が高いことが確認できる。

累計の大学進学者においては、2年生時点で進学先に対する認知が、他の候補校と比べて先行している。

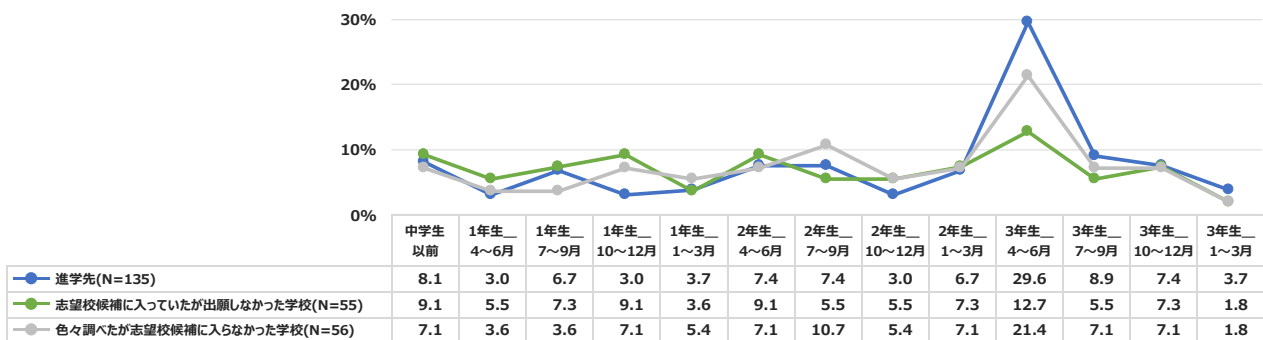
専門学校進学者では、進学先・他の候補校ともに認知のピークは「3年生 4～6月」。一方、3年生の進級前までは他の候補校の方が進学先より認知が先行している。

※グラフ非掲載の回答「覚えていない」を含めると100%になる。

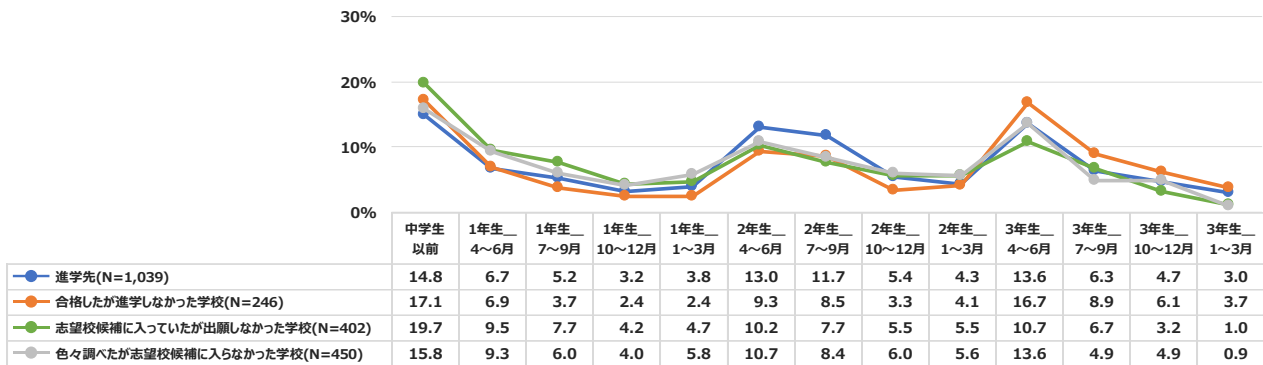
▼ 学校を知った時期（大学進学者）



▼ 学校を知った時期（専門学校進学者）



▼学校を知った時期（全体）



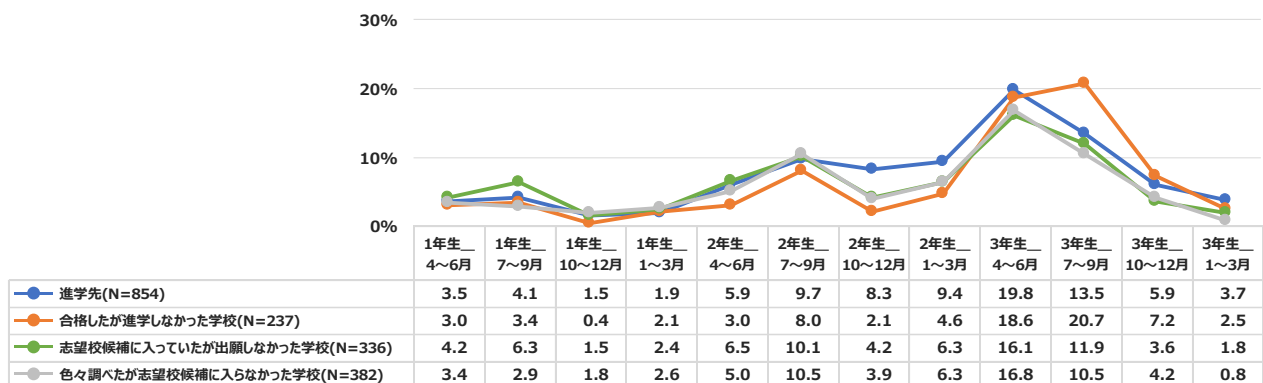
■進学先以外の候補学校へ資料請求をした時期

大学進学者の資料請求時期は、概ね進学先および合格したが進学しなかった学校以外の候補校で、同様の傾向がみられる。一方、合格したが進学しなかった学校では「3年生 7~9月」が最多で、20.7%を占める。前述の進学先との比較結果も踏まえると、合格したが進学しなかった学校は進学先に比べて進路検討の時期がやや遅れていると考えられる。

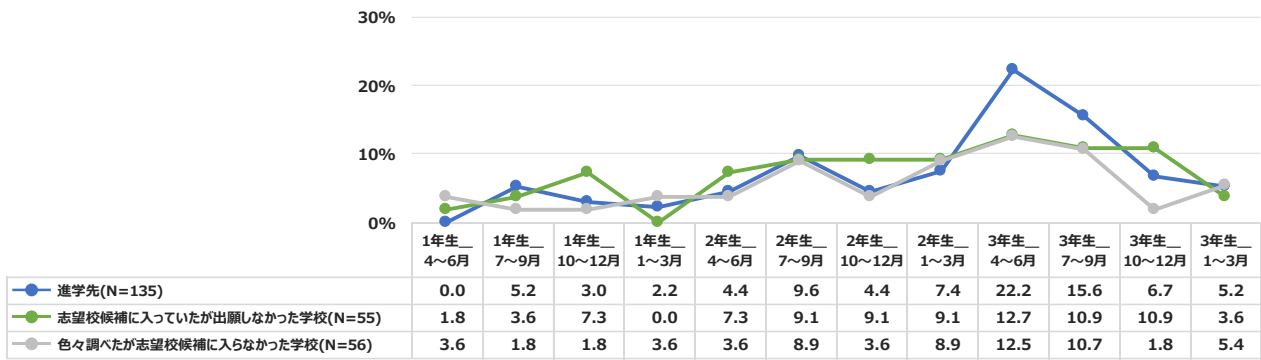
専門学校進学者では、進学先と他の候補学校で差が開いたのは「3年生の4~6月」「3年生の7~9月」であった。

※グラフ非掲載の回答「資料請求したが時期は覚えていない」「資料請求していない」「資料請求したかどうか覚えていない」を含めると100%になる。

▼学校へ資料請求をした時期（大学進学者）

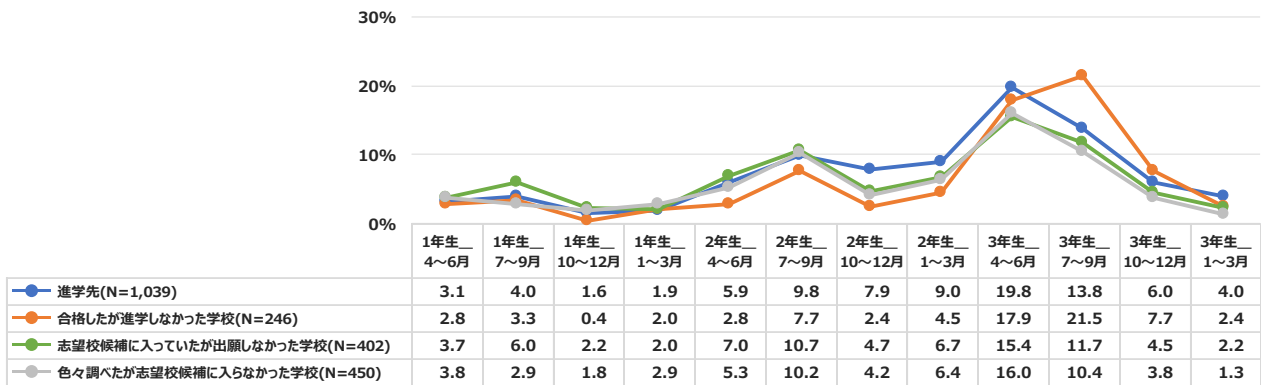


▼学校へ資料請求をした時期（専門学校進学者）



以下、余白

▼学校へ資料請求をした時期（全体）



以下、余白

■進学先以外の候補学校のオープンキャンパス・体験入学(イベント)へ参加した時期・割合

大学進学者のイベント参加時期について、進学先と他の候補校との差が最も大きいのは「3年生 7～9月」であった。2年生では概ね全校で同様の推移を示していることや、前述の進学先の出願決定時期を踏まえると、3年生の参加は出願意思の醸成に一定関連していると考えられる。

一方、他の候補校では同時期に約20%がイベントに参加しており、この時期に複数校を比較検討している様子もうかがえる。

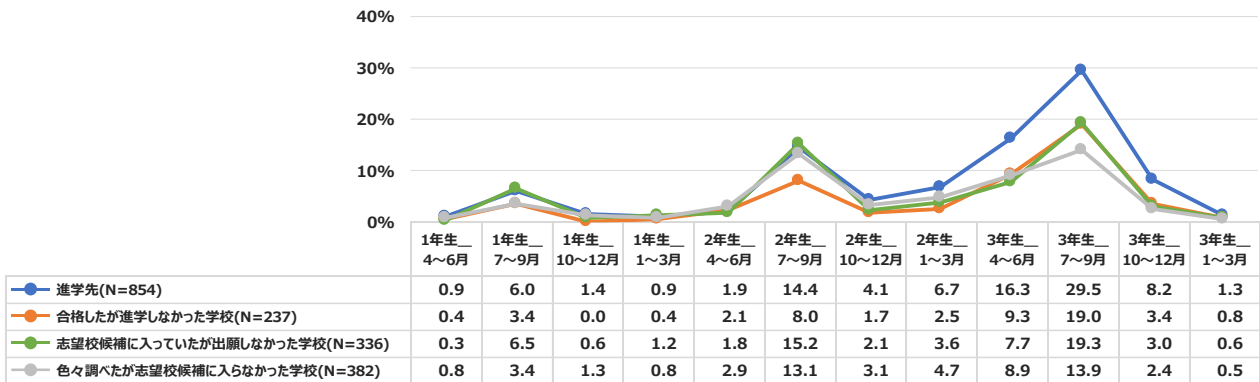
また、オープンキャンパス等のイベントが多い7～9月の参加状況を見ると、合格したが進学しなかった学校は、各学年の同一期間において、進学先および志望候補に入っていたが出願しなかった学校と比べ、参加割合が低い結果となった。

専門学校進学者では、進学先と他の候補校との差が最も大きいのは「3年生 4～6月」であった。1・2年生までのイベント参加には両方で大きな差が見られないことから、3年生進級前までは複数校のイベントに参加していると考えられる。

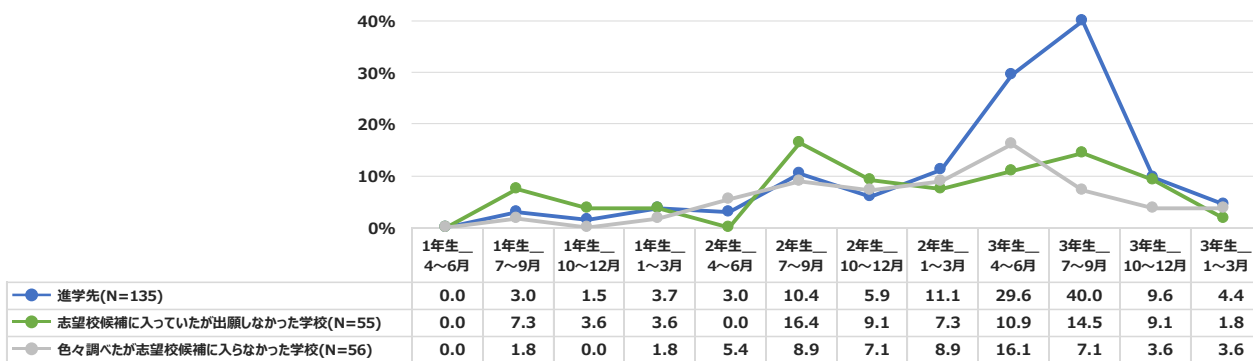
オープンキャンパス・体験入学へ参加した割合は、進学先校種・時期に関わらず、進学先が他の候補学校に比べて高く、大学進学者では75.4%、専門学校進学者では94.8%となった。

※グラフ非掲載の回答「参加したが時期は覚えていない」「参加していない」「参加したかどうか覚えていない」を含めると100%になる。

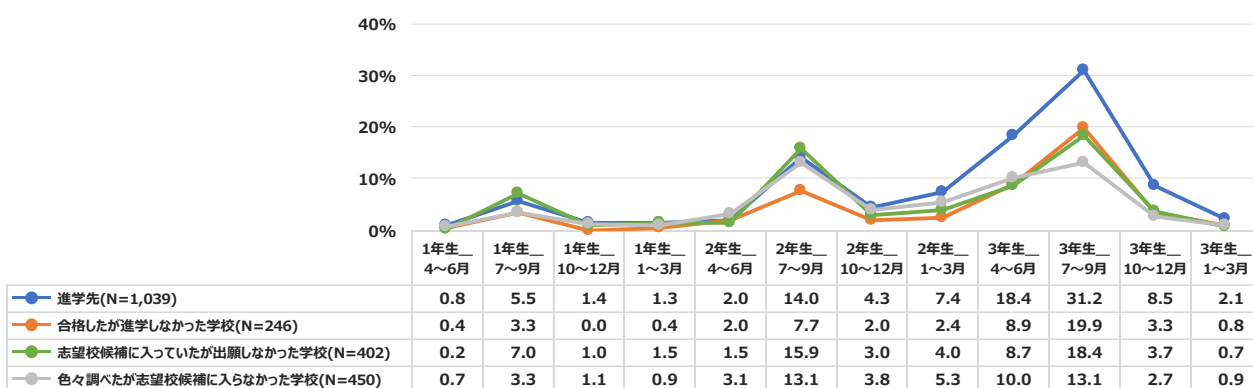
▼オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（大学進学者）



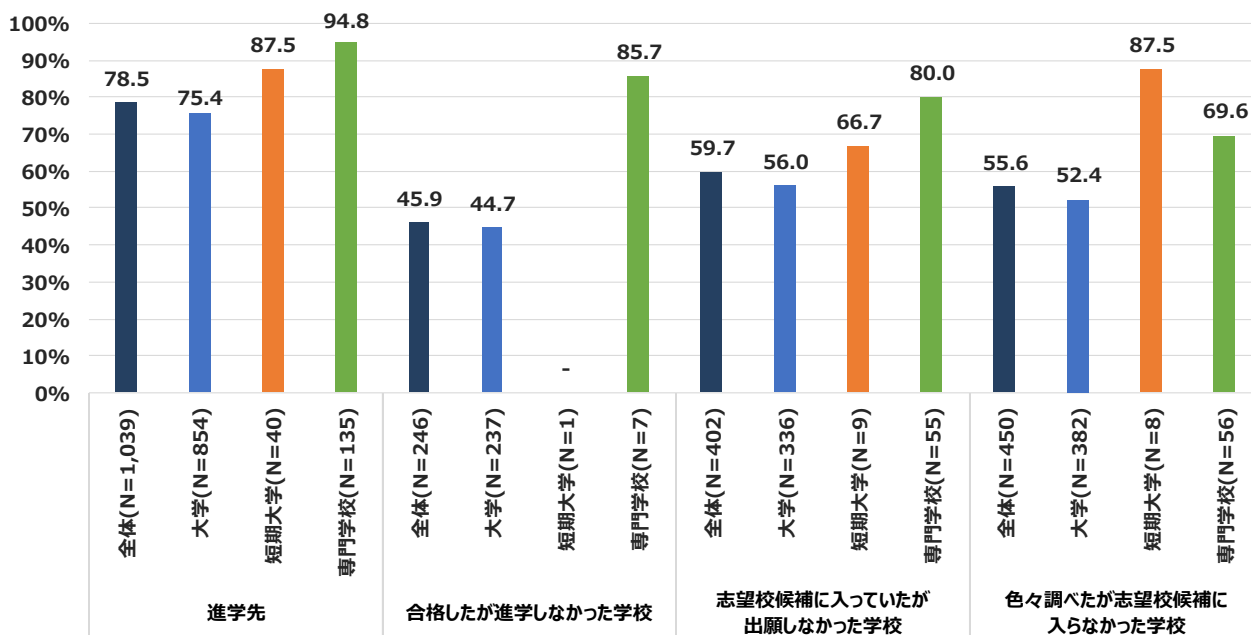
▼オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（専門学校進学者）



▼オープンキャンパス・体験入学へ参加した時期（全体）



▼オープンキャンパス・体験入学へ参加した割合



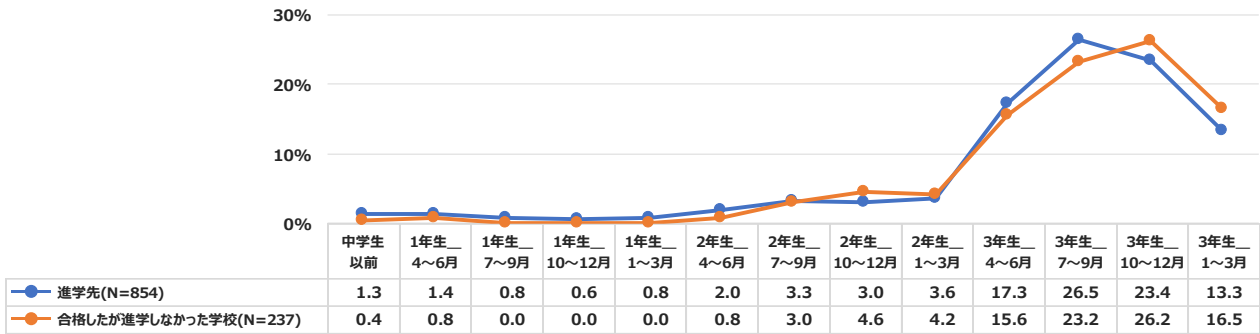
■ 進学先以外の候補学校の出願を決めた時期

大学進学者の出願は、進学先では「3年生 7～9月」(26.5%) が最も多く、「3年生 4～12月」の時期に集中している。

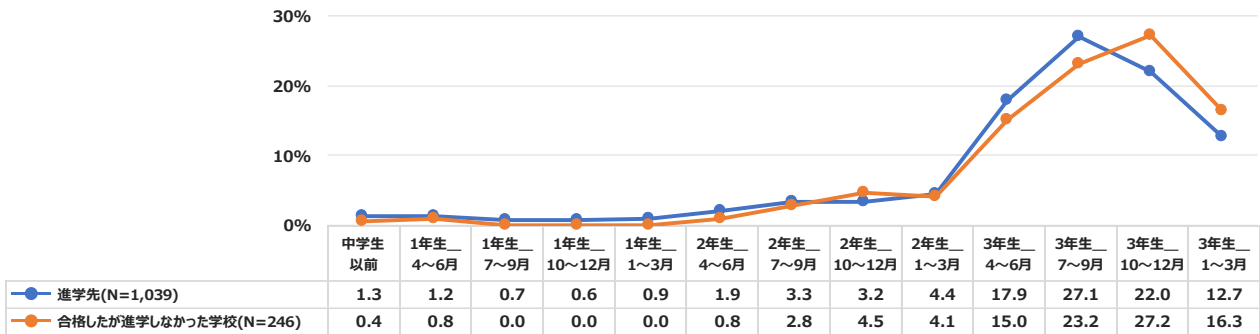
進学先と合格したが進学しなかった学校で大きな違いはないが、最も多い時期が進学先で「3年生 7～9月」、合格したが進学しなかった学校で「3年生 10～12月」と、進学先のピークがやや早い。

※グラフ非掲載の回答「覚えていない」を含めると100%になる。

▼ 出願を決めた時期（大学進学者）



▼ 出願を決めた時期（全体）



進学先以外の「色々調べたが志望校候補に入らなかった学校」「志望校候補に入っていたが出願しなかった学校」「合格したが進学しなかった学校」について、それぞれ志望校候補に入らなかった・出願しなかった・進学先として選ばなかった一番の理由を聴取した。

※大学進学者のみ抜粋。

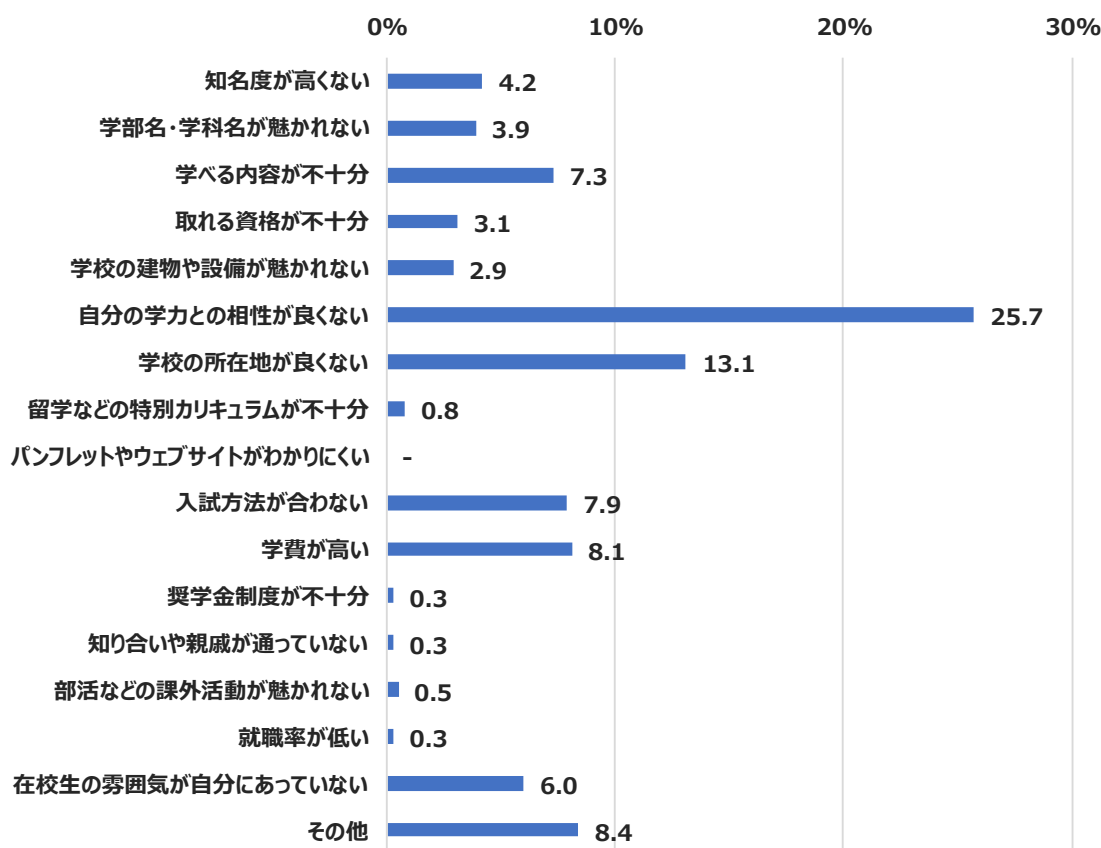
■ 志望校候補外とした理由、候補校から出願に至らなかった理由、合格後に進学しなかった理由

志望校候補に入らなかった理由、志望校候補に入っていたが出願しなかった理由はともに、「自分の学力との相性が良くない」が最も多い。合格したが進学しなかった理由では、「合格した中で最も偏差値の高い学校ではなかった」(31.6%)が突出して高い。

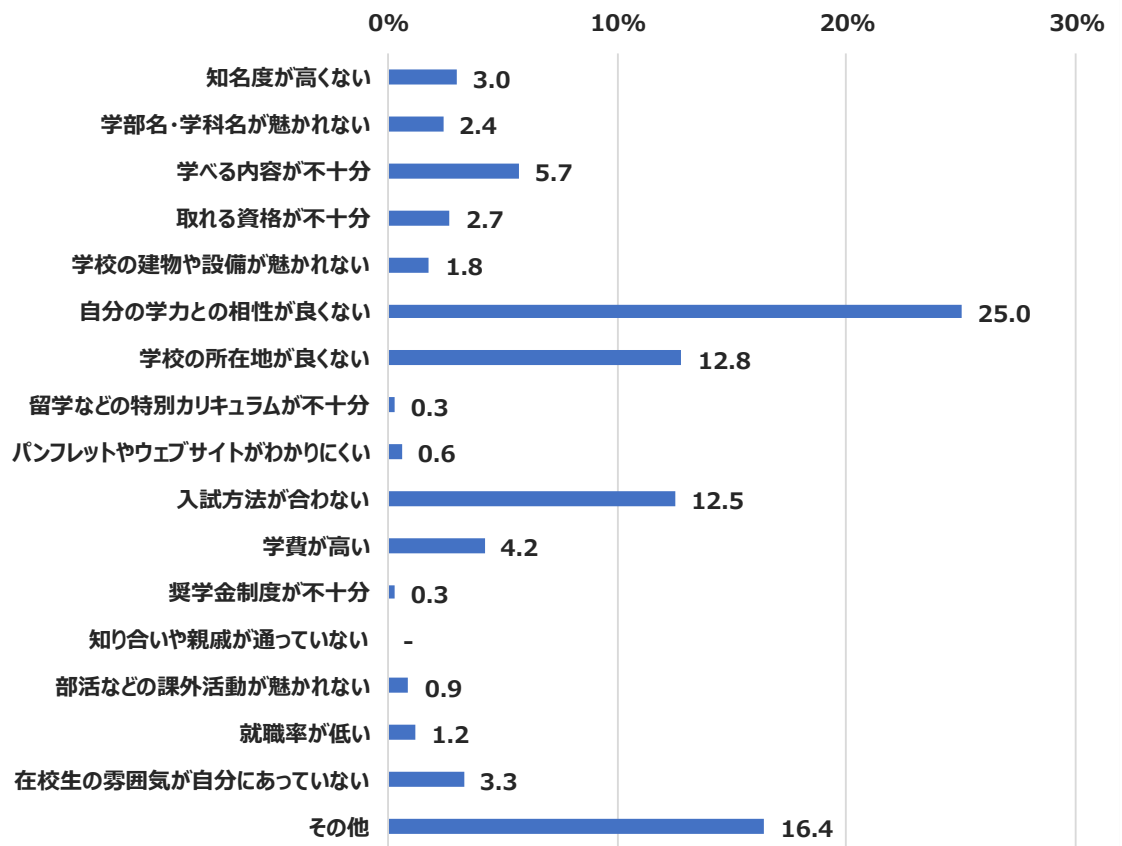
志望校候補に入らなかった理由は「学校の所在地が良くない」「学費が高い」、志望校候補に入っていたが出願しなかった理由は「学校の所在地が良くない」「入試方法が合わない」、合格したが進学しなかった理由では、「他の学校よりも学費が高かった」「学びたい内容が学べるか不安だった」「通学に不便だった」が続く。

▼色々調べたが志望校候補に入らなかった学校が、志望校候補に入らなかった一番の理由

(大学進学者 N=382 の回答)

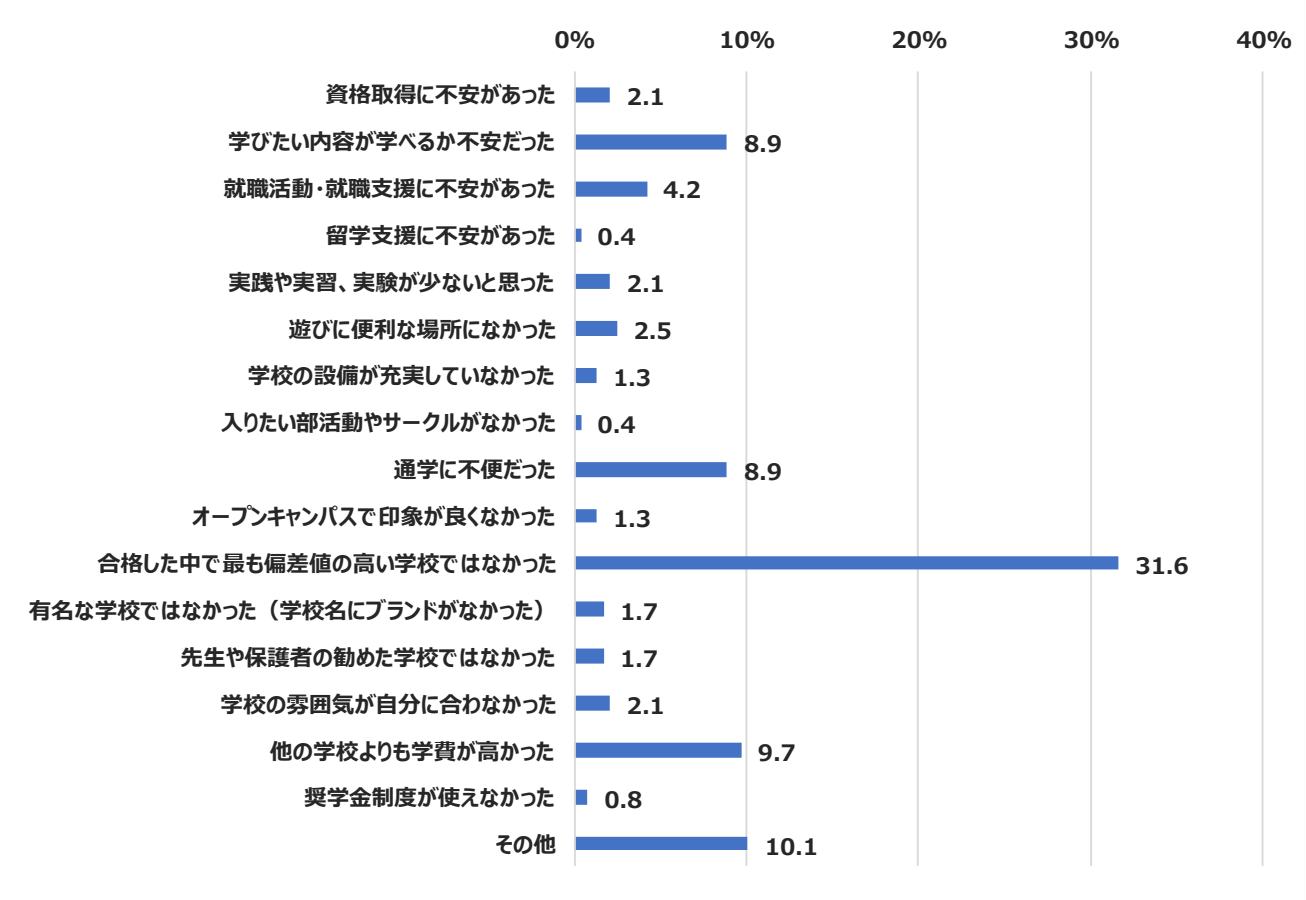


▼志望校候補に入っていたが出願しなかった学校に、出願しなかった一番の理由
 （大学進学者 N=336 の回答）



▼合格したが進学しなかった学校を、進学先として選ばなかった一番の理由

（大学進学者 N=237 の回答）

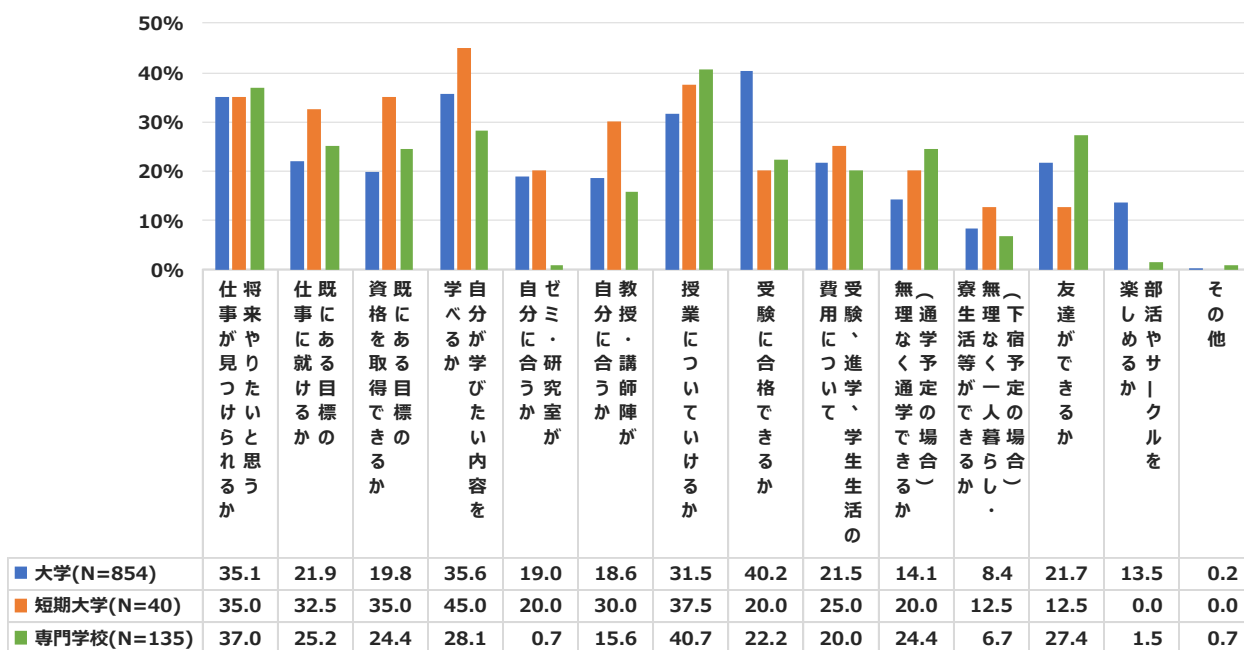


4 進路選択に関する不安・満足度について

■ 受験校を選んだ時の不安や悩み

受験校を選んだ時の不安や悩みについて聞くと、大学進学者では「受験に合格できるか」(40.2%)が、短期大学進学者では「自分が学びたい内容を学べるか」(45.0%)が、専門学校進学者では「授業についていけるか」(40.7%)が、それぞれ前年と同様にトップとなった。大学進学者では「自分が学びたい内容を学べるか」(35.6%)、短期大学進学者では「授業についていけるか」(37.5%)、専門学校進学者では「将来やりたいと思う仕事が見つけれられるか」(37.0%)と続く。

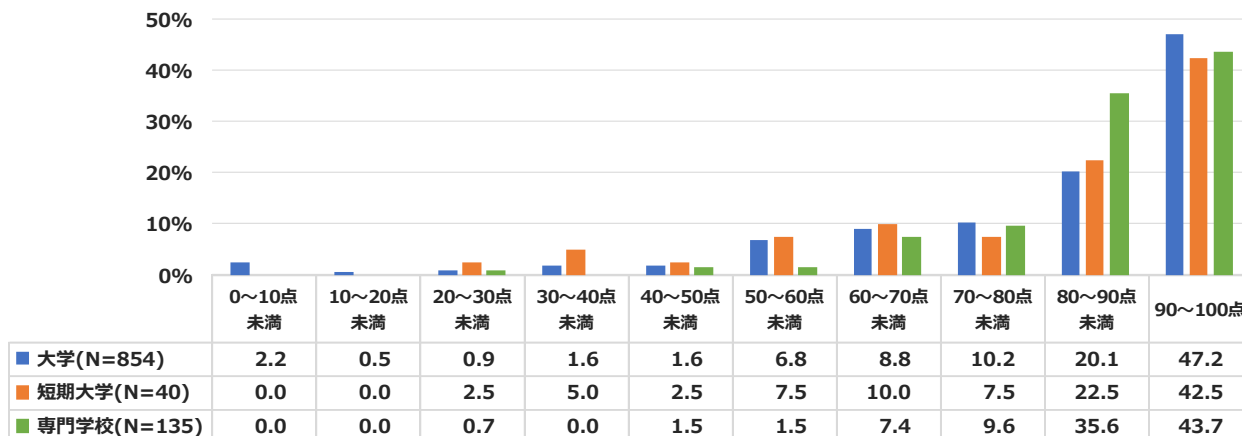
▼ 受験校を選んだ時の不安や悩み



■進路選択の満足度（100点満点評価）

進路選択の満足度（100点満点評価）を聞くと、「90～100点」の割合が最も多い（大学進学者 47.2%、短期大学進学者 42.5%、専門学校進学者 43.7%）。80点以上の割合は、いずれの進学先も6割台半ばを超えている。

▼進路選択の満足度（100点満点評価）



本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ キャリアデザイン事業本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>